

官報 號外

大正十一年三月十日

金曜日

印刷局

第四十五回衆議院議事速記録第二十六號

大正十一年三月九日(木曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第二十五號 大正十一年三月九日

午後一時開議

第一 符獵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 煙草專賣法中改正法律案(高田耘平君提出) 第一讀會

第四 鎮南浦築港完成ニ關スル建議案(牧山耕藏君提出)

第五 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外五名提出)

第六 官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案(中村清造君外二名提出)

第七 朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案(牧山耕藏君外六名提出)

第八 新潟築港ニ關スル建議案(丸山嵯峨一郎君外十四名提出)

第九 青森築港國營ニ關スル建議案(北山一郎君外十五名提出)

第十 澁川上田間鐵道速成ニ關スル建議案(木槍三四郎君外一名提出)

第十一 理化博物館建設ニ關スル建議案(鈴木隆君外四名提出)

第十二 地方鐵道買收法制定ニ關スル建議案(中西六三郎君外四名提出)

第十三 對支文化事業施設ニ關スル建議案(山本条太郎君外六名提出)

第十四 地方裁判所新設ニ關スル建議案(藏內次郎君外七名提出)

第十五 北海道鐵道速成ニ關スル建議案(木下成太郎君外七名提出)

第十六 肥料官營ニ關スル建議案(津野田是重君外三名提出)

第十七 郡町村連絡直通電話特設獎勵ニ關スル建議案(佐久間啓莊君提出)

第十八 利根運河國有ニ關スル建議案(本多貞次郎君外六名提出)

第十九 原蠶種ノ種類制限ニ關スル建議案(武藤金吉君外七名提出)

第二十 醫師法中改正ニ關スル建議案(八木逸郎君外十一名提出)

第二十一 國立體育研究所設立ニ關スル建議案(八木逸郎君外十一名提出)

第二十二 癩兵優遇及軍人遺族扶助料改正ニ關スル建議案(津野田是重君外三名提出)

第二十三 肥料專賣ニ關スル建議案(高田耘平君提出)

第二十四 公娼制度廢止ニ關スル建議案(橫山勝太郎君提出)

第二十五 寬仁、文永及弘安ノ役ニ於ケル殉難志士奉祀ニ關スル建議案(中村清造君外三名提出)

第二十六 宮崎神社勅祭社陞進ニ關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

第二十七 吉野松坂間鐵道敷設ニ關スル建議案(荻田悅造君外一名提出)

第二十八 恩給制度改正調查委員會設置ニ關スル建議案(三浦得一郎君外四名提出)

第二十九 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(阿部武智雄君外四名提出)

第三十 大湊開港ニ關スル建議案(阿部武智雄君外六名提出)

第三十一 航空事業ノ統一及擴張ニ關スル建議案(津野田是重君外三名提出)

第三十二 宇岩鐵道敷設ニ關スル建議案(植竹龍三郎君外三名提出)

第三十三 鳥黑伊棚鐵道敷設ニ關スル建議案(石川玄三君外二名提出)

第三十四 (特別報告第百二十八號)文官恩給ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第百三十號)扶港ニ稅關支署設置ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第百三十一號)所得稅法中改正ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第百三十二號)自家用蠶油稅法改正ノ請願 (委員長報告)

第三十八 (特別報告第百三十三號)落花生蠟入關稅引上ノ請願 (委員長報告)

第三十九 (特別報告第百三十四號)田畑地價等級修正ノ請願 (委員長報告)

第四十 (特別報告第百三十五號)三國港開港ノ請願 (委員長報告)

第四十一 (特別報告第百三十六號)網走港ヲ特別輸出港ト爲スノ請願 (委員長報告)

第四十二 (特別報告第百三十七號)賣藥印紙稅全廢ノ請願 (委員長報告)

第四十三 (特別報告第百三十八號)家祿削減額未分返還ノ請願 (委員長報告)

第四十四 (特別報告第百三十九號)不足祿追給ノ請願 (委員長報告)

第四十五 (特別報告第百四十號)在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願 (委員長報告)

第四十六 (特別報告第百四十一號)日露戰役ノ際浦潮艦隊ノ爲擊沈又ハ破損セラレタル汽船所有者ニ對シ損害填補ノ請願 (委員長報告)

第四十七 (特別報告第百四十二號)明治節創定ノ請願 (委員長報告)

第四十八 (特別報告第百四十三號)宮ノ內鎮座八幡神社昇格ノ請願 (委員長報告)

第四十九 (特別報告第百四十六號)國幣大社大山祇神社國寶館建築費國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第五十 (特別報告第百四十七號)府縣制第百八條改正ノ請願 (委員長報告)

第五十一 (特別報告第百四十八號)失業者保護ノ請願 (委員長報告)

第五十二 (特別報告第百五十號)按摩術營業取締規則ニ關スル請願 (委員長報告)

第五十三 (特別報告第百五十一號)偽癘兵取締ノ請願 (委員長報告)

第五十四 (特別報告第百五十四號) 大船渡港
ヲ重要港灣ト爲スノ請願 (委員長報告)

第五十五 (特別報告第百五十六號) 鶴見川改
修費國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第五十六 (特別報告第百五十七號) 淺茂川漁
港修築ノ請願 (委員長報告)

第五十七 (特別報告第百五十八號) 高砂港灣
改修費國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第五十八 (特別報告第百六十號) 天賣漁港修
築ノ請願 (委員長報告)

○議長(與繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

〔原田書記官朗讀〕

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
狩獵法中改正法律案

(以上三月八日提出)
内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケ
ル船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案

臺灣私設鐵道補助法案
銅、真鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案

(以上三月九日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
家祿引直處分法案

提出者 久下 豐忠君 關 直彦君
山口 熊野君 望月 政友君
伊坂秀五郎君 天春 文衛君
萩田 悅造君 濱田 國松君
川崎 克君 岡崎 邦輔君

(以上三月八日提出)
松江隱岐間海底電信電話増設速成ニ關スル建議案

提出者 若林 德懋君 佐野 正雄君
平田民之助君 櫻内 幸雄君
島田 俊雄君

信樂(貴生川加茂間)鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 安原仁兵衛君 長田 桃藏君

(以上三月八日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
圓山川改修工事ニ關スル質問主意書

提出者 紫安新九郎君
〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載
ス〕

一昨八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
食料品配給設備ニ關スル建議案

渡邊 修君 山本条太郎君 松本孫右衛門君
中山 佐市君 高山 長幸君 若尾 幾造君

廣瀬 鎮之君 宮崎友太郎君 赤田 瑳一君
櫻内 幸雄君 木下謙次郎君 島本 信二君

磯貝 浩君 平出喜三郎君 淺野 順平君
手島 欽司君 前川 虎造君 奥村千太郎君

一昨八日治安警察法中改正法律案外三件委員山移
定政君辭任ニ付其ノ補闕トシテ野田文一郎君ヲ、工
場法中改正法律案委員野田文一郎君辭任ニ付其
ノ補闕トシテ武内作平君ヲ、樞原神宮第二期宮城擴
張及建物修築ニ關スル建議案外二件委員八木逸郎
君、岩崎宗茂助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ坂本素魯
哉君、中村清造君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

一今九日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ
第四部選出豫算委員中馬興九君(早速整爾君補
闕)

一今九日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
食料品配給設備ニ關スル建議案委員

委員長 渡邊 修君 理事 廣瀬 鎮之君
前川 虎造君

○議長(與繁三郎君) 會議ヲ開キマス諮問事項ガアリマ
ス、議員吉村鐵之助君病氣ニ付、本月八日ヨリ二十五日
マデ請假ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可
致シマス。日程第一狩獵法中改正法律案ノ第一讀會
ヲ開キマス山本農商務大臣

第一 狩獵法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

狩獵法中改正法律案
狩獵法中左ノ通改正ス

第八條 狩獵免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區
別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ

一等 所得稅二百圓以上ヲ納ムル
者又ハ其ノ家族 百圓

二等 所得稅ヲ納ムル者又ハ其ノ
家族 五十圓

三等 一等、二等及四等以外ノ者 十五圓

四等 主トシテ狩獵ヲ以テ生計ヲ
立ツル者 五圓

前項四等ニ該當スル者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第一項ノ免許稅ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第十一條中「狩獵ヲ爲ス」ヲ「鳥獸ヲ捕獲スル」ニ改ム
〔國務大臣男爵山本達雄君登壇〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 本改正案ノ目的ハ、免
許稅ノ増額ニ依リマシテ狩獵者ノ數ヲ相當制限セントス
ルコト、及御獵場、禁獵區域等ニ於ケル鳥獸保護ノ目的
ヲ全カラシメントスル此二點ニ外ナラヌノデアリマス、狩獵
者ノ數ハ近年益々増加シテ參リマシテ、現行法制定當時
ノ免許稅率ニ多少ノ引上ヲ行ヒマシタニモ拘ラズ、尙ホ益
増加ヲ來シツ、アルノデアリマス、斯ノ如ク致シマス、野生
ノ鳥獸ノ激減ハ勢ヒ免レヌノデアリマス、故ニ稅率ノ引上
ヲ行ヒマシテ、狩獵者ノ數ヲ相當ノ程度ニ抑制スル必要ガ
アルノデアリマス、而シテ現行法ニ於キマシテハ、御獵場、
禁獵區、公道等ニ於テハ單ニ狩獵ヲ禁ズルニ止マリマシ
テ、法定獵具ノ使用以外ノ方法ニ依リ鳥獸ノ捕獲ハ之ヲ認
容スル制度アリマス、ソレ故ニ鳥獸ノ繁殖ヲ妨ゲルコトガ
夥クナリノデアリマス、故ニ是等ノ場所ニ於テハ鳥獸ノ捕
獲ヲ禁止シ、前ノ料金ノ引上ヨリ抑制スルト相俟テ、一層
鳥獸保護ノ目的ヲ達セントスル次第デアリマス、ドウカ御
審議ノ上、御協賛アラント望ミマス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマ
ス、田淵豐吉君

〔田淵豐吉君登壇〕
○田淵豐吉君 昨ハ政府ニ御尋シタイノハ、此前カラ免
稅ニナレ居ルヤウデゴザイマスガ、ズン前ハサウナ、テナカ
トヤナイカト思フ、此前ハサウナッテ居ルト思ヒマスガ、家族
ト戸主、其區別ハ付ケテナイ、日本ノ實情ニ依リマス、家族
ト戸主ト云フモノトハ餘程力ノ上ニ懸隔ガアル、負擔ノ均
衡ノ上カラ當ラヌト思フ、何ヲ以テ斯ノ如キ事ヲシタカト云
フ證據ガ明白デナイト思フ、又實際上ニ於テ是カラ非常ナ
ル弊害ガ生ジテ居ルト云フコトハ、御調ニナツタラ分ラウト思
ヒマス譯ニシクハ申シマセヌ、故ニ家族ト云フモノト戸主ト
云フモノト間ニ、嚴格ナル差異ヲ置イテ一等ヲ下ゲルト
カ半額ニ下ゲルトカスルノガ當リ前ト思フ、實ニ小サイヤウ
ナ事デアリマスガ、總テ日本ノ法制ガ斯ウ云フ風ニ大雜駁
ニシテ、アルデ間違テ居ルノデナイト思フ、實際上間違デ
アルト思フ、又山家ノ方ヘ行クト分業ニナツテ居ナイカラ、或
時ハ鳥ヲ捕シテ身體ノ衛生ニスルトカ、滋養物ニスルトカ何
トカスル必要アルノデアラウト思フ、此點ハ密獵ヲナカラシ
ムル上ニ於テモ、或ハ色々ノ法制上ノ缺陷ヲ來サセナイト云

フヤウナコトヲ爲サラウト思フナラバ、斯ウ云フハナコトニ於テ、ハキリ一、等下ゲルト云フコトニシナケレバナラヌト思フ、故ニ私ハ此點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ願フ、御考慮ヲ願ヒタイト思フ、デアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 山本農務大臣

○國務大臣(男爵山本達雄君登壇)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御答致シマス、此納稅ヲ致シマス、戶主ト家族トノ間ニ付テ、區別ガ今度ノ改正案ニ於テモアリマス、此點ニ付キマシテハ從來ヨリズト成リ來タテ居ラヌデアリマス、其所以ハ戶主デアリマシテ納稅者トナツテ居リマス、其家族ニ於テハ又此事ニシマスト脱稅ノ如キ、戶主ニシテ家族ノ名ヲ以テ免許ヲ得ルヤウナコトモ往々アリ得ベキコトデアリマス、故ニソレハ矢張同様ニシテ精神デアリマス、而シテ此者ハ職權ナドニハナイデアリマス、唯第一、第二ト云フ此一二等ノ遊獵ニ屬スル、謂ハハ職權アラズシテ、遊獵ニ屬スベキ、多少慰ミヲ以テ特權ヲスルト云フ方ニ、此制限ヲ置イテ居ル次第デアリマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラ

ンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ

カ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議

ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致

シマス、即チ茲ニ政府提出、露國政變及西比利亞事變ノ爲

損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續

ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレコト

ヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ

ヌカ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、故ニ日程

ハ變更サレマシタ、露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ

被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ

マス、委員長島田俊雄君

露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告

候也

大正十一年三月九日

露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員長

島田 俊雄

衆議院議長奥繁三郎殿

○島田俊雄君 此法律案ハ提案ノ際ニ於テ當局大臣ヨ

リ其趣意ハ説明サレタル所デアリマス、詳シク茲ニ申ス必要ハナイデアリマス、詰リ最近ノ露西亞内及露支國境ニ於テ起リマシタ事變ノ際、帝國臣民ニシテ當時其事變ニ關係シテ引揚ゲ、或ハ厄運ノ如キ遭難、悲惨ナル事變ニ遭遇シマシテ、ソレニ依テ被害ヲ所ノ損害、之ニ對スル救恤ノ趣意ヲ以テ出來タ法律案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ數回質問應答ヲ重ネマシテ、政府ニ於テ此救恤トシテ支出スル見込ニナツテ居リマス、百五十萬圓ノ金ノ算定方法等ニ付テ詳細、其基礎ヲ確カメマシタデアリマス、即チ此百五十萬圓ノ國庫債券ヲ發行スルト云フコトノ根本ノ材料トシテ、政府ノ説明スル所ニ依リマシレバ、此事變ノ爲ニ引揚ゲ、或ハ遭難ヲシテ被害ヲ所ノ損害ニシテ、現在政府ノ手許ニ申出ニナツテ居ル所ノモノガ、凡ソ二千九百萬圓位ナモノガアルト云フコトデアリマス、此中凡ソ四百萬圓位方圓ノモノハ、是ハ間接ノ損害、或ハ損害トシテ眞ニ數フベキコトノ出來ナイヤウナ性質ノモノデアリカシテ、當然差引クヤウナ性質ノモノデアリカラ、其儘ニシテ、小サナ損害ノ總額ハ政府ノ只今手許ニ申出ニナツテ居ルモノハ二千五百萬圓デアリ、尙ホ併ナガラ此法律ガ制定ニ相成リマシテ發布サレマシタ場合ニ、此六條ノ規定ニ依テ本年ノ七月三十一日迄ニ申出ル所ノモノヲ見込ニシテ、ソレモ政府ニ於テ凡ソ確定シテ居ル所ニ依レバ、之ガ凡ソ五百萬圓デアラウ、左様致シマス、既ニ申出ニナツテ居リマスモノト、ソレカラ今後申出ニナツテアラウト云フモノ合計致シマシテ、凡ソ三千萬圓位ナ損害ノ救恤ニ値ヒスベキ損害ガアルト云フ次第デアリマス、日露戰爭當時ノ先例ニ依リマシタルト云フ、此被害高ノ凡ソ二十分ノ一ヲ救恤トシテ支出シタルト云フ先例ガアリマス、此度ノ此事變ニ依ル、即チ歐羅巴、露西亞西伯

利、及此支那トノ接近シテ居ル方面ニ於テ起タ事變ノ爲ニ起タ損害總額三千萬圓ニ對シテ、此先例ニ依テ二十分ノ一ノ救恤トシテ給スルト云フ次第デアリマシテ、即チ此第二條ニ於ケル百五十萬圓以内云々ト云フヤウナ規定ガ出タ次第デアラウデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、委員ニ於キマシテモ質問應答ノ結果、十分ニ諒解ヲ得マシテ、サウシテ此法律案ノ如キハ速ニ之ヲ成立セシメテ、當時損害ヲ被リタル遭難シタル者ノ救恤ニ、相當ナル所謂救恤ノ實行舉ゲルコトガ至當デアラウト云フコトニ認メタデアリマス、唯茲ニ此法律ヲ發布セラレ、法律案ガ制定セララルニ付テハ、之ニ關聯シテ一ツ特ニ注意スベキ事柄ハ、是ハ所謂救恤デアリ、併ナガラ此事變ノ爲ニ被害ヲ所ノ損害ニ對スル救濟ハ、如何ニスルカト云フ問題デアリマス、此事變ノ爲ニ或ハ業ヲ奪ハレ、或ハ生命ヲ奪ハレ、サウシテ其影響スル所ノ日露ノ間ニ於ケル經濟關係、即チ對露貿易、其他經濟ノ關係ト云フモノガ、此事變ノ爲ニ阻害サレ、或ハ破壊サレテ居ルト云フ狀況ニナツテ居ルデアリマス、個人ノ損害ニ付テモ固ヨリ救濟ノ途ヲ立テナケレバナラヌ、此日露ノ經濟關係ノ破壞サレ阻害サレタルモノニ對シテ如何ナル方法ヲ以テ政府ハ今後スルデアラウカ、是ハ當然此救恤ヲスルニ當テ種々質問應答ヲ重ネラレタデアリマス、政府ハ此點ニ付テハ慎重ナ考慮ヲシ、取調ヲ爲シテ居ル次第デアリケレドモ、只今安ニ如何ナル方法ニ依テ其救濟ヲスルト云フコトノ方案ヲ確定スルニ言明スルコトハ出來ナイト云フ次第デアリマス、左様ナ次デアリマシテ、言明ヲ得ルコトハ出來マセヌデアリマシケレドモ、政府ガ此點ニ付テ、即チ救濟ノ問題ニ付テハ慎重ナル考慮ヲシテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ此原案ヲ可決スルト同時ニ、之ニ對シテ一ツ希望ノ意味ニ於ケル附帶ノ決議ヲ對シマシテ、政府ノ特ニ注意ヲ喚起シタイト云フコトニ相成リマシテ、原案ヲ全會一致ヲ以テ可決スルト同時ニ、次ノ如キ一ツ希望ノ決議ヲ附帶ニ爲シタルデアリマス、即チ政府ノ露國政變及西比利亞事變ノ爲ニ被害ヲ所ノ損害ニ付相當救濟ノ方法ヲ講ゼラレコトヲ望ムト云フコトデアリマス、此相當ノ救濟ト云フコトノ意味ハ、解釋ニ依リマシテハ色々ニナルデアリマセウガ、是亦先年此日露戰爭當時ノ跡始末ノ時ニ於テ起タヤウナ先例モアルヤウナ次第デアリマシテ、假令ハ低利資金ノ貸出スルカ、或ハ其他適當ノ方法ニ依テ、此現ニ損害ヲ受ケテ業ヲ奪ハレ、或ハ非常ナ悲惨ノ境遇ニ陥テ居ル者、及是等ノ關係カラシテ惹起サレタル日露關係、日露ノ經濟關係、貿易關係ヲ恢復シ改善スルト云フコトニ付テハ、幾多ノ方法ガアルデアラウ、ソレ

等ノ最善方法ト云フコトモ加味シテ居ル次第アリマシテ、政府ニ於テ成べく此案ヲ立テ、救恤ノ實ヲ與ゲルト同時ニ、救済ノ實ヲ舉ゲテ貫ヒタイト云フコトノ希望ヲ表明シテ、次第アリマス、原案ニ對シテ各條項ニ互フテ色ニナ質問モ交ハサレマシタレドモ、結局其趣旨ヲ認メ、又政府ノ説明スル所ヲ諒ト致シマシテ、原案全部ヲ此附帶決議ト同時ニ承認スルト云フコトニ相成ツタ次第アリマスカラシテ、右御諒承ノ上本會ニ於テモ、亦全會一致ヲ以テ可決アランコトヲ希望スル次第アリマス

○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定アランコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

露國政變及西比利亞事變ノ爲メ損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第三、煙草專賣法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——高田松平君

第三 煙草專賣法中改正法律案(高田松平君提出)

第一讀會

煙草專賣法中改正法律案

第二十條ノ三中「水害」ノ下ニ、病害、旱害、霜害ヲ加フ

○高田松平君 簡單デアリマスカラ此席カラ述ベマス

○議長(奥繁三郎君) 登壇ヲ……

〔高田松平君登壇〕

○高田松平君 此改正案ハ、實ハ昨年ノ宿題デアリマス、政府ガ第四十四議會ニ於キマシテハ、煙草耕作ノ安定ト、其專賣業ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲メ、一定ノ災害ニ向テ補償ヲ仕拂フト云フ法律案ヲ提出シタノデゴザイマス、而シテ其災害ノ風害、水害、及電害ニ限ラレテ居リマス爲メ、其餘ノ災害、即チ病害、霜害等ガ其當時ノ改正案ニ含著サレ

デアリマセヌデアリマス、サウスレバ其結果ハドウナルカ、而シテ被害ノ程度ハ何レノ害ガ一番多イクト云ヘバ、言フマデモナク病害ガ最も多イデアル、然ルニ此病害等ヲ加ヘザルコトハ、或ル一部ノ災害ヲ被ル者ニ對シテハ保障ヲスルガ、他ノ一部ノ災害ヲ被ル者ニハ保障ヲシナイト云フコトニナル結果、却テ不公平ニナルカラシテ、吾々ハ其際ニ病害、旱害、霜害ヲ加フベシト云フ修正意見ヲ提出致シタノデゴザイマス、然ルニ遺憾ナガラ、昨年ハ少數ニ依テ否決サレマシタレドモ、吾々ノ主張ハ確ニ全國ノ煙草耕作業者全體ノ熱心ナル希望デアリマス、故ニ否決サレマシテモ、吾々ハ之ヲ其儘拾置クコトガ出来マセヌノデ、更ニ本議會ニ於テ此修正案ヲ提出シ、諸君ノ御賛成ヲ得テ、煙草耕作業者ノ安定ヲ圖リ、一面ニハ專賣業ノ基礎ヲ鞏固ニシタイト云フ考デゴザイマス、ドウゾ諸君ノ御賛成ヲ仰ギタイト思ヒマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ宮本平藏君外十一名提出、所得稅法中改正法律案外一件ノ委員會ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四鎮南浦築港完成ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、牧山耕藏君

第四 鎮南浦築港完成ニ關スル建議案(牧山耕藏君提出)

〔牧山耕藏君登壇〕

○鎮南浦築港完成ニ關スル建議案

鎮南浦築港完成ニ關スル建議案

政府ハ朝鮮鎮南浦ノ築港ヲ速ニ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○牧山耕藏君 本建議案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマス、鎮南浦ハ諸君御承知ノ如ク西朝鮮ニ於ケル重要ナル港デアリマシテ、舊韓國政府時代、即チ明治四十二年ニ築港ノ必要ヲ認メテ、工事費總額五百四十餘萬圓ヲ投シテ、閘門式築港ノ計畫ヲ立テタデアリマス、而シテ其第一期工事トシテ百餘萬圓ヲ投ジタデアリマシタガ、財政ノ都合ニテ大正四年ニ至テ豫定ノ計畫ヲ變更シ、第一期工事ノ合ニテ打切リマシテ、初メ閘門式築港ノ計畫デアッタノ開渠式ニ改メテ、先ヅ竣工ノ形式ヲ執リタデアリマス、所ガ此計畫變更ノ爲メ所期ノ築港ノ目的ヲ達スルコトガ出来ナイデ、大同江ノ淤泥ガ渠内ニ流込ミマシテ、政府デハ年々十數萬圓ノ金ヲ投ジテ、二艘ノ浚渫船ヲ以テ浚渫致シテ居

ルルト云フ有様デアリマス、鎮南浦ハ日ヲ逐ウテ非常ナル發展ヲ致シマシテ、今日デハ時二十數艘ノ船舶ガ一日ニ出入ヲ致スト云フヤウナ有様デアリマス、然ルニ現在ノ狀態デハ只今申述ベマシタ如ク、設備ハ極テ不完全デアリマシテ、岸壁ニハ僅ニ二艘ノ船舶シカ繋グコトガ出来ナイデアリマス、其爲メ多數ノ船舶シマシテモ、其大部分ト云フモノハ沖待ヲシナケレバナラヌ、長イノハ六十時間、八十時間モ沖待デアリマス、政府ハ大正十一年度ノ豫算ニ五千餘萬圓ヲ投ジテ、元山ヨリ平壤ニ至ル鐵道、即チ平元鐵道ノ敷設ヲ計畫致シマシテ、其豫算ヲ提出致シテ居ルデアリマスガ、此平元鐵道ハ諸君御承知ノ如ク、裏日本及滿洲方面ヨリ元山、平壤、鎮南浦ヲ經テ中部支那ニ一大交通ノ幹線ヲ設ケルモノデアリマシテ、此鐵道完成ノ曉ニ於テハ、鎮南浦港ノ使命ト云フモノハ更ニ一段ノ重キヲ加ヘル次第デアリマス、然ルニ現在、鎮南浦港ノ設備ト云フモノハ極テ不完全デアアル、而モ其貿易額ハ日本全國ノ各港ヲ通ジテ、第十位ヲ下ラザル盛況ニ在ルデアリマスカラ、政府ハ速ニ此築港計畫ヲ立テラレンコトヲ希望致シマシテ、此案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出、三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、八田宗吉君

第五 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外五名提出)

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

○八田宗吉君 極テ簡單ニ提案ノ趣旨ヲ申述ベマス、本建議案ハ毎回請願トナテ何百件數本院ニ提出サレマシ、

テ、何時モ探擇ニナリテ居リマス、サウシテ又建議案トシマシテハ、去ル四十三議會ニ於キマシテ本院ヲ通過シ、去ル四十四議會ニ於キマシテハ委員會ニ付託サレ、委員會ハ之ヲ結了致シタノデアリマシタケレドモ、本會議ハ遺憾ナガラ時間ノ都合上未了ニ終リタノデアリマス、而シテ政府ニ於キマシテハ、此案ニ對シマシテ大ニ同情ヲ表シ、少クトモ六十万圓以上ノ補助金ヲ出スト云フコトヲ前田中陸軍大臣ガ明言致シテ居リマスノデアリマス、而シテ之ヲ提案スベク試ミタ様子デアリマシタケレドモ、遂ニ今尙ハ實現サレナイヤウナ狀態ニ在ルト云フコトハ頗ル遺憾ニ堪ヘザル所デアリマス、近來此軍縮ト云フヤウナ聲ガ高イ爲ニ、軍人ノ意氣ガ頗ル沮喪シテ居ル狀況デアリマス、隨テ斯様ナル提案ニ對シテ、陸軍當局ガ之ヲ斷行スル勇氣ノ甚ダ足ラザルコトヲ吾々ハ残念ニ感ズル者デアリマス、軍縮ノ半面ニ於テハ斯ウ云フ團體ニ對シテ十分ナル補助ヲ與ヘテ、之ヲ發達セシムル必要ノアルコトハ申スマデモナイト私ハ信ズルノデアリマス、此時ニ當リマシテ、政府ハ宜シク此良兵良民主義ヲ標榜シテ居ル此團體ニ對シテ、年々相當ノ補助金ヲ與ヘルト云フコトハ最モ適當ナリト信ジマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ永屋茂君外二名提出、巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六、官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、中村清藏君

第六 官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案(中村清藏君外二名提出)

官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案

官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案

政府ハ速ニ皇祖神武天皇ノ御母神玉依姬命ヲ奉祀セラル官幣小社竈門神社ノ境域ヲ整理シ建物ヲ改築シテ御社格ニ相當スル施設ヲ爲スヘシ

右建議ス

〔中村清藏君登壇〕

○中村清藏君 私人本建議案提出ノ理由ヲ極テ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、併シ此官幣小社竈門神社ト云ヒマスルノハ、世間ニ餘リ知ラレテ居ラセヌカラ、私ハ第一ニ其位置カラ説明致シタイト思ヒマス、九州本線ノ博多驛ヨ

リ南約十哩許リノ所ニ二日市驛ト云フ驛ガアリマス、是ハ有名ナ太宰府天滿宮ノ參拜口ニ在リマス、其驛ニ降リマシテ東西シマス、築紫平野ノ中央ニ巍峨トシテ屹立シテ居ル山ガ寶滿山又竈門山ト申スノデアリマス、此山ノ麓ニ我ガ皇祖神武天皇ノ御母君デアリマス、玉依姬命ヲ奉祀シテアリマス、由緒最顯著ナル神社ガ即チ只今問題トナリテ居リマス、竈門神社デアリマス、此神社ノ昔ヲ討ネマス、神社ハ社殿、堂宇、僧坊等ガ西南ニ面シマシテ、神樣ト佛樣ト並ビ祀ラレテアツタ所デアリマス、サウシテ其御懿德ハ非常ニ隆盛ナルモノデアリマス、九州ノ總鎮守ト言ハレテ居、タト云フコトデアリマス、ソレヲ足利時代ニ九州ガ動亂ノ巷トナリマシタ時ニ、異教信者デアリマス所ノ大友宗麟ガ豐後ヨリ來テ、此山ヲ攻滅シマシテカラ遂ニ滅亡ニ歸セシメタノデアリマス、ソレヲ豐臣秀吉ガ九州降リノ時ニ之ヲ再興ヲ圖リマシテ、續イテ藩主ノ黒田家ガ非常ニ竈門神社ヲ御信仰ガアリマシタ爲ニ修築セラレ、且ツ神地ノ御寄進ガアリマシタ爲ニ、稍、舊觀ニ復シタト云フコトデアリマス、然ルニ明治維新ノ際、神佛混淆ハ相成ラヌト云フノデ、遂ニ此山ガ再び滅亡ニ歸シマシテ、唯僅ニ一ノ神殿ヲ遺スノデアリマシタ、之ヲ明治二十八年ノ十月六日ニ、畏クモ明治大帝ガ官幣小社ニ御昇格ノ仰出ガアツタデアリマス、ソレデ神威ガ又復光輝キ、光明ヲ認メルコトガ出來タノデアリマス、悲イ哉境內ハ甚ダ狭小デアリマシテ、纔ニ一部ノ神殿ヲ遺シタノデアリマス、之ガ由チ我ガ皇祖神武天皇ノ御母神ヲ祀ラレタル所ノ官幣小社デアリマス、コトハ誰人モ認ムルコト、出來ナイ程哀シナルモノデアリマス、傳ブル所ニ依リマスト云フ、神武天皇ガ御東征ノ大業ハ此御母神ノ玉依姬命ガ御指揮ヲセラレタト云フコトデアリマス、サウシマス、我ガ建國ノ大業ト云フモノハ御母神ノ御靈德ニ依ル所頗ル大ナリト申サナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、ソレデ即チ明治大帝ハ之ヲ官幣小社ニ御昇格セラレタ所ノ次第モ大ニ拜察スルコトガ出來ルノデアリマス、近頃竈門神社ニ參拜スル者ガ非常ニ多イ、神社ハ作ノ神樣ト近頃稱ヘルノデアリマス、遠近ノ農民其他參拜スル者ガ毎年多キヲ加ヘテ居リマス、ソレニ又此寶滿山ト申シマス、海抜約四千尺アリマス、學生ノ登山スル者ガ非常ニ多イノデ、所ガ彼等參拜スル者、彼等登山スル者、一度其山頭ニ立チ、社頭ニ立チマシテ此荒寥タル所ノ光景ヲ眺メマシタナラバ、如何ナル感想ガ浮ブデアリマセウカ、私ハ想像スルニ餘リアルコト、存ズルノデアリマス、今ヤ思想問題ハ喧シク致シマシテ、我ガ國民性ノ最も重要ナル所ノ祖先崇拜ト、義勇奉公ノ念ヲ愈、涵養セネバナラス際ニ、我ガ皇祖ノ御母神ヲ祀ラタ所ノ官幣小社ニシ

テ、斯ノ如キ有様デアルト云フコトハ、私ハ洵ニ遺憾ノ極ニ存ズルノデアリマス、此次第ヲ以テ政府ハ速ニ此建議案ヲ容レラレマシテ、神社ノ境域擴張並ニ神殿ノ改築アラシコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、何卒滿場諸君ノ御賛成アラシコトヲ懇望スル次第デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ高草美代藏君提出、樞原神宮第二回宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七、朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、牧山耕藏君

第七 朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案

(牧山耕藏君外六名提出)

朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案

朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案

政府ハ朝鮮平安北道龍川郡ノ南端郭申嘴ト多獅島トノ間ヲ埋築シ貿易港ヲ建設セムコトヲ望ム

右建議ス

〔牧山耕藏君登壇〕

○牧山耕藏君 多獅島ハ朝鮮ノ平安北道新義州ヨリ距ル南方二十一哩ノ地點ニ在ルノデアリマス、日清戰爭、日露戰爭ノ際ニ我ガ皇軍ハ此地點ヨリ上陸致シタノデアリマス、當時ハ數十ノ艦船ガ此所ニ碇泊ヲ致シタノデアリマス、爾來多獅島ノ地位トシテ漸ク中外ニ認メラル、ニ至ッタノデアリマシタ、今日ニ於キマシテモ國境貿易ノ大部分ト云フモノハ、此地點ヨリシテ集散ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ吞吐港デアアル所ノ新義州及安東縣トハ、水路二十四哩ヲ隔テ居ルノデアリマス、江流ノ關係等ヨリシテ解船ヲ荷役ヲ致シマス、三日乃至六日ヲ要スルノデアリマス、若シ此港ヲ築港致シマス、是等ノ不便ガ除カレラルノミデナク、御承知ノ如ク陸接國境鐵路貿易ニ對シマシテハ、支那政府ヨリ三分ノ一ノ關稅免除ノ特典ガアルノデアリマス、併シ多獅島ニ依ル貿易ハ鐵路貿易ニ該當致サナイノデアリマス、當リ前ノ關稅ヲ拂テ居ルノデアリマス、然ルニ此港ガ築港ヲサレ新義州トノ間ニ鐵路ノ便ガ設ケラレマス、現在貿易額ヨリ推算ヲ致シマシテ、約九十一萬圓ニ近イ所ノ關稅減免ノ利得ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、又此港ハ鎮南浦ヨリ大連ノ間ニ於ケル唯一ノ不凍港デアリマシテ、此港ガ完全ニ築港ヲセラレマス、大連港ト相待テ滿蒙及朝鮮ノ開發ニ利スル所大ナルコトハ申スマデモナイノデアリマス、此港ノ築港ニ付テハ、伊藤統監

ノ時代目賀田男爵が財務顧問トシテ在任セラレマシタ
時分ニ、調査ヲ經テ居リマスノデアリマスドウソ政府ニ於
キマシテハ、速ニ築港ノ計畫ヲ立テ、之ニ伴フ豫算案ヲ提
出シテ實ヒタイト云フノガ、此建議案提出ノ主ナル理由デ
アリマス、尙ホ此ニ關シマシテハ、平安道、及對岸安東縣
方面ノ有力者ガ多御島築港期成同盟會ヲ作リマシテ、
同方面ノ有力者タル多田榮吉君が其會長トナリ、多數ノ
公職者等が其幹部トナリ、此築港ノ爲ニ最善ノ努力ヲ盡
シテ居ルデアリマス、ドウソ皆様ノ御賛成ヲ得マシテ、本
建議案ノ趣旨ガ一日モ早ク達成セラレンコトヲ切望シテ
已マヌ次第デアリマス

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出、三津濱
港築港國庫補助ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セテ
付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ日程第八、新潟築港ニ
關スル建議案ヲ議題ト致シマス、丸山嵯峨一郎君

第八 新潟築港ニ關スル建議案(丸山嵯峨一郎君外十四名提出)

新潟築港ニ關スル建議案

新潟築港ニ關スル建議案

華府會議ノ結果ハ武力競争ヲ停止シテ將ニ非常ナル經
濟戰爭ヲ惹起セムトス之カ對應ノ策ヲ講セムトスルニハ
專ラ港灣ヲ修築シテ海外貿易ヲシテ益盛大ナラシムルニ
在リ我カ國日本海沿岸ニ於テ良港ニ乏シキコト此ノ際
最留意スルヲ要ス新潟港ハ日本海沿岸ニ於テ露領浦
鹽ニ通スル最近ノ地位ニ在リ其ノ後方面ノ聯絡交通ハ
頗ル廣闊ニシテ而シテ東京ヲ距ルコト亦最近シ然レトモ
現在縣營ノ築港計畫ハ規模甚少ニシテ大船巨舶ヲ繫
留スルコト能ハス若シ之ヲ變更シテ信濃川本流ヲ市ノ西
方開屋濱ニ疏通シ以下萬代橋ニ至ル間ヲ埋立テ自然
ノ地形ヲ利用シテ廣闊ナル海港ヲ築クコトヲ得ハ獨リ一
地方ノ利益ナルノミナラス實ニ我カ帝國ニ於ケル必要ニ
シテ且將來最有望ナル貿易場ヲ開發スルコトヲ得ヘシ
政府ハ速ニ之カ調査ヲ爲シ新潟築港國營ノ計畫ヲ樹テ
ラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔丸山嵯峨一郎君登壇〕

○丸山嵯峨一郎君 新潟築港ニ關スル建議案ノ説明ヲ
簡單ニ致シマス、本案ハ當テ明治三十二年、又三十八年ト
思ヒマシタガ、此二回提出致シマシテ、尙ホ今回デ三度目

デアリマス、何時モ各派諸君ノ多數ノ御賛成ヲ得テ提出致
シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ又建議案ノ多數ノ今
日デアリマスカラ、他ノ委員ニ付託セラレルヤウナ事ニナル
デアラウト思フノデアリマスルガ、其委員諸君ニハ特ニ御同
情ヲ御願ヲ致シテ置キマス、元來此港灣ノ修築ニ付キマシ
テハ、我國ノ現狀ニ於テハ最も大切ナル仕事デアリマス、殊
ニ華盛頓會議ノ結果ト致シマシテ、國際平和ガ保障セラレ
タ其爲ニ、各國共ニ全力ヲ盡シテ、經濟戰爭ノ方ニ傾注シ
テ行クト云フヤウナ譯デアリマスカラ、我國ニ於キマシテモ
此際ニ於テハ、外國貿易ノ門戸デアアル所ノ港灣ヲ整理致
シテ、サウシテ世界ノ大勢ニ順應セバナラヌト私ハ思フ
ノデアリマス、本員ガ建議致シマシタ所ノ新潟築港ノ事
ナドハ、當局者ニ於テモ先ヅ第一ニ其考慮中ニアラネバ
ナラヌモノト私ハ思フテ居リマス、新潟港ハ諸君モ御承知
ノ通り當テ日本ノ開港場ト致シマシテ五港ノ一デアリ
マシタ、所ガ其當時ハ北海岸ニ於ケル所ノ重要ナル港デア
リ、且ツ良好ナル港デアラッタノデアリマスケレドモ、地方ノ山
林ガ濫伐セラレタ結果ト致シマシテ、信濃川及其支流ノ洪
水、若クハ豪雨ノ際ニ於テ、港口ニ流出ス所ノ土砂ト云フ
モノハ、實ニ莫大ナモノデアリマシテ、僅カ二十年ヲ經ザル中
ニ此五港ノ一タル所ノ新潟港ハ、殆ド港ノ效用ヲ爲スコト
ガ出來ナイト云フヤウニ相成リマシタ譯デアリマス、政府ニ
於キマシテモ、固ヨリ此點ニハ憂慮セラレテ居タニハ相違ア
リマスマイケレドモ、此港ガ斯クマデニ荒廢シタ所ノ其原因
ヲ治ムル所ニ心ヲ用ナカダノハ、甚ダ遺憾デアリマス、而
ガ、到底此港灣ハ、是マデ新潟市ノ經營ニ委ネテアッタ所
デアリマシタカ、之ヲ縣ノ經營ニ移シタト云フヤウナ次第
デアリマス、所ガ此縣ニ於キマシテモ、矢張同様、此港ヲ港トシ
テ用ナラレヤウニ修築スルニ付テハ、中ニ負擔ガ重イノデア
リマス、ソレ故ニ縣ニ於テモ政府ニ向テ、此新潟港ノ修築
事業ヲ國營トセラレンコトヲ上申シテ居ルヤウナ次第デア
リマス、一日モ速ク此港ノ修築ヲ致シテ願ヒタイト云フノガ
本員ノ希望デアリマス、假ニ此新潟港ト云フモノヲ今日
儘ニ致シテ置イタナラバ、此莫大ニ於ケル所ノ總テノ經
營、殊ニ此鐵道ノ關係ニ於キマシテ、最も注意ヲ要スル事
デアリマスルノデ、此地方ニ於ケル鐵道ト云フモノハ、北陸上
越、信越、磐越、會津、及此羽越、是等ノ諸線ガ悉ク新潟
ニ集ル譯デアリマシテ、新潟ハ此中樞ニ當テ居リマスルカラ、
此新潟ニ於テ海陸ノ連絡ヲ取ラヌト云フコトニナリマスル
云フト、此許多ノ折角鐵道ノ連絡ノ上ニ於キマシテモ、能率
ガ頗ル減ズルヤウナ譯デアリマスカラ、是非共此新潟港ニ於テ
海陸ノ連絡ヲ取テ、サウシテ此許多ノ鐵道線路ニ向テテ效

用アラシムルヤウニ致シタイノデアリマス、殊ニ又此新潟港
ハ浦潮斯德ト相對シテ居リマス、サウシテ他日歐羅巴及日
本トノ交通ガ西伯利ヲ經由シテ行クコトニ相成リマスレバ、
歐洲各國ノ都府ト東京トノ距離ト云フモノガ最も近ク相
成ル譯デアリマス、サウシテ見マスルト、此新潟港ト云フモノ
ハ、日本ノ樞要地タルノミナラス、此際ニ於テハ世界ノ樞要
地デアラネバナラヌト私ハ信ズルノデアリマス、此點ニ於キマ
シテモ尙ホ一日モ速ク新潟港ヲ修築アラシムコトヲ希望スル
ノデアリマス、所デ此新潟港ノ修築ト云フコトニ付テハ、多
少ソレハ費用ガ嵩ミマセウケレドモ、幾ラデモナイノデアリマ
ス、サウシテ其設計ト云フモノハ、頗ル簡單デアリマス、尙ホ此
築港ト云フコトガ、將來ニ向テ完全ナ港ヲ造ルコトガ出來
ルト云フノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、其築港ノ大
體ノ根本計畫ヲ私ヨリ簡單ニ申上ゲマスルガ、新潟市ノ西
ニ當テ開屋濱ト云フ處ガアリマス、其處ニ信濃川ノ本流
ヲ開放スルノデアリマス、サウシテ第一ニ新潟ノ港ニ年々
吐出ス所ノ土砂ヲ、此本流ヲ開放スルコトニ依テ防グ
ノデアリマス、ソレヨリ以下新潟市ノ中央ニアル萬代橋
ト云フ處マデ之ヲ埋立テルノデアリマス、サウシテ其處
ニ凡ソ四十二万坪許リノ市街地ト云フモノガ出來
上ルノデアリマス、此萬代橋ヨリ以下現在ノ地形ヲ利
用致シマシテ、サウシテ港ノ所謂港灣面積ナルモノヲ造
上ゲテ、凡ソ是ガ矢張四十万坪許リノ面積ヲ築立ルコトガ
出來ル、尙ホ東ノ方ニ向テハ十分ニ之ヲ擴大スル所ノ餘
地ヲ存シテ居リマス、サウシテ港ノ方ニ當テハ、風ト及砂ヲ
防グタケノ、例ヘバ突堤ノ如キモノヲ築立テ、サウシテ船ノ出
入スルニ容易ナラシメル、港ノ深サハ、約ソ三十五尺乃至四
十尺迄ヲ浚渫致シマシテ、其深サヲ始終保持シメルヤウニ
致シマス、斯ウ致シマスレバ、最早年々土砂ヲ流シ込デ港
ヲ埋メル憂ハナイノデアリマスカラ、優ニ一萬噸級ノ船ヲ繫
留スルコトガ出來マシテ、豫テ五港ノ一タル所ノ新潟港ヲ
復舊スルコトガ出來、北海岸ニ向テハ優良ナル港ヲ整備ス
ルコトガ出來ル次第デアリマス、此根本計畫ニ付キマシテ
ハ、著名ナル技術家ト雖モ別ニ反對ハ申シマセヌヤウナ譯デ
アリマス、政府モ必ズ之ニ同意セラレデアラウト思ヒマスル
ガ、唯之ヲ事業ガ多少金ヲ要スルコト云フヤウナコトデ、優柔
ニシテ之ヲ斷ゼズシテ、一年ヲ緩ウシタナラバ即チ一年ダケ
ノ損失ガアリノデアリマス、今日海運業ノ進歩ノ著シイ場
合ニ於テ、若シ十年モ此儘放任シテ置イタナラバ、必ズ他日
ニ於テ莫大ナル所ノ損失ヲ招ク譯デアラウト私ハ思フノデアリ
マス、ソレ故ニ一日モ早ク此港ノ修築ヲセラレンコトヲ希望
シテ、茲ニ其説明ヲ致シタヤウナ次第デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出三津濱

港築港國庫補助ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ希望シマス

〔贊成〕贊成ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第七、青森築港國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、阿部武智雄君

第九 青森築港國營ニ關スル建議案(北川一郎君外十五名提出)

青森築港國營ニ關スル建議案

政府ハ青森港ヲ第一種ニ線ノ上ケ國費ヲ以テ速ニ修築ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔阿部武智雄君登壇〕

○阿部武智雄君 本建議案ハ昨年モ提出致シマシテ、本會ノ滿場一致ノ御同意ヲ得テ、通過シテ居リマス。本年ト本年ト大分趣キ異ニシテ來タ爲ニ、更ニ又當年モ此建議ヲ出ス已ムヲ得ヌ場合ニナリ。本州ト北海道ノ連絡ニ用キラレテ居ル港アリマシテ、即チ青森ト函館ト主ニ連絡ヲ取リテ居リマス、其外室蘭、或ハ小樽等定期連絡船モ歩イテ居リマス。主ニ函館ニ通ジテ居リマス、而シテ一方函館ヲ見マスル、而モ有名ナル彼ノ巴港ト稱スル立派ナ天然ノ港ニ對シテ、而モ臥牛山ト云フ山ヲ背負テ居ルノデ、至極總力ナ港ナル、加フルニ船ガ横着ニナルマデニ棧橋ヲ造ツテ、非常ニ便利ニ出來テ居リマス。一方此本州ニ沿ウテ居ル所ノ青森ヲ見マスルニ云フ、諸君ノ御承知ノ如ク殆ド開放シノ港ニナリテ居リマス、ゾレガ爲ニ先年縣經營トシマシテ、百五十萬圓ノ金ヲ以テ築港ニ掛リマシタ、今尙ソレニ五十萬圓加ヘマシテ、約二百萬圓ノ金ヲ現在ノ築港ニ掛テ居リマス。諸君、此築港ハ去年二月十六日ノ大暴風雪ニ遭ヒマシテ、殆ド效用ヲ爲サズト云フヤウナ悲境ニ陥リテ來タノデアリマス、詳細ハ只今私ガ申上ゲルヨリモ、煩ワ省キマシテ速記ニ殘サユニ御願ヒ致シマス、ゾレガ爲ニ殆ド現在ノ築港ハ甚ダ此連絡上不安ナリト云フ状態ニ陥リテ居リマス、然ルニ尙ホ之ニ對シテ、更ニ此築港ヲ擴張スルナリ、又更ニ設計ヲ直シテ相當ノ設備ヲシヤウト云フコトハ、逆モ地方ノ經濟上ヤリ得ベカラザル所デアリ、故ニ此青森築港ヲ國營トシマシテ更ニ相當ノ設計ヲスルナリ、或ハ現在ニ依テ何カノ方法ヲ變ヘルナリシテ、適當ナ方法ニ依テ國營トシテヤテ載キタイト云フノガ、此建議案ノ趣旨デゴザイマス、私共考ヘマスニハ、青森ノ港ハ獨リ青森縣

トシテヤルベキ港トハ考ヘナイノデアリマス、或ハ漁港トカ、避難港トカ、其ノ一地方ノ利害ニ關係スルコトナラバ、無論其地方デ相當ノ責任ヲ負ハネバナリマセヌケレドモ、此青森ノ港ハ諸君御承知ノ如ク、北海道ト本州ニ互ル即チ國道トモ申シマス、或ハ又一方浦潮又樺太、其他或ハ海外ニ對スル殆ド天下ノ公道、即チ國港ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ私共ノ考デハ、横濱、神戸、下ノ關、敦賀ナドト同ジク、國營デ以テヤテ下サルノ適當ナモノト考ヘテ居ル、中ニモ下ノ關、即チ釜山ト下ノ關ノ間、彼ノ關釜連絡ノ港ト何等ノ變テ事ガナイ、即チ北海道ト本州、其他青森ト浦潮樺太、沿海州等ニ至ル最モ必要ナ關門ト考ヘテ居ルノデアリマス。此意味ニ於テ相當ナ國費ヲ以テ經營シテ貫ヒタイト云フ趣意デアリマス。カ、ドウゾ諸君ニ於テモ宜シク御賛成アラントヲ希望致シマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出、三津濱築港國庫補助ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第十、澁川上田間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、木槍三四郎君

第十 澁川上田間鐵道速成ニ關スル建議案

案(木槍三四郎君外一名提出)

澁川上田間鐵道速成ニ關スル建議案

本線ハ上越線中澁川停車場ヨリ分岐シ中之條、原、長野原ヲ經テ長野縣上田停車場ニ通スルモノニシテ輕井澤横川間ノ不完全ナル輸送力ヲ補ヒ更ニ世界の溫泉地タル草津、四万、川原湯及鹿澤等溫泉地ノ交通ヲ便ニシ加フルニ吾妻郡ノ豐富ナル林產物搬出ノ便ヲ得眞ニ國家有用ノ線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ實施計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔木槍三四郎君登壇〕

○木槍三四郎君 至テ簡單ニ本案提出ノ趣旨ヲ申上ゲテ置キマス、本案ハ上越線中、澁川停車場ヨリ分岐致シマシテ、中之條、原、長野原ヲ經テ、長野縣上田市ニ通ズル線デアリマス、此線ハ皆樣ノ御承知ノ溫泉ノ澤山アル處デアリマシテ、世界ノ溫泉ト唱ヘル草津溫泉モアレバ、或ハ四万溫泉モアリ、河原湯溫泉モアリ、鹿澤溫泉モアルト云フ譯デ數

十萬ノ浴客ハ年々往復シテ居リマスガ、地方ノ力デハ道路ガ十分ニ出來マセヌノデ、免角浴客ノ不便ヲ感ジテ居ルコトハ、年々其ノ感ガ多クデアリマス、ソレデ此方面ニ是非鐵路ヲ敷イテ載キタイト云フコトガ、國家經濟ノ上カラ大變大切ト思ハレルコト、今一ツハ此線ガ出來マスコトハ、輕井澤線ノ輸送ノ十分ナ所ヲ補フコトガ出來ルノデアリマス、今一ツハ又山林ノ豐富ナル所デゴザイマシテ、此林產物ヲ搬出スルコトガ出來、是等ノ輕井澤線ノ輸送ノ十分ハ、溫泉浴客數十萬ノ便利ヲ得ルコト、並ニ林產物ノ豐富ナルモノヲ搬出スルコトノ出來ルト云フ大局カラ見テ大切ナル線路デアリマス、此線ハ現在出來テ居リマス上越線、澁川停車場ヨリ分岐致シマシテ、長野縣ニ通ズル、即チ上田市ニ聯絡スルモノデアリマシテ、國家トシテ最モ速成ノ必要ヲ感ジテ、茲ニ建議ヲ致シマシタ次第、滿堂諸君ノ御賛成ヲ偏ニ希フ次第デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案、外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第十一、理化博物館建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、鈴木隆君

第十一 理化博物館建設ニ關スル建議案

案(鈴木隆君外四名提出)

理化博物館建設ニ關スル建議案

理化思想ノ普及ト其ノ深淺ノ程度ニ依テ國家ハ其ノ産業經濟貿易ニ多大ノ影響ヲ及ボスコトハ敢テ論フ俟タサルトコトナリ今ヤ華府會議ノ結果トシテ各國競フテ産業經濟貿易ニ主力ヲ傾注シ一ハ以テ國家ノ實力ヲ伸ヘ一ハ以テ國民生活ノ安定ヲ圖ラムトスルノ秋ナリ此ノ機會ニ於テ政府ハ國民ノ理化思想涵養ニ裨益センカ爲速ニ理化博物館ヲ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔鈴木隆君登壇〕

○鈴木隆君 本案ハ國民ニ理化思想ノ普及ヲ主トシテ提出シタモノデアリマス、歐洲戰亂ノ劈頭ニ當リマシテ、機械、藥品若クハ染料ノ暴騰ニ依リマシテ、國民ニ一大辛イ經驗ヲ覺エサシタコトハ、何人モ記憶ニ新ナル事實デアリマス、茲ニ於テカ、朝野翕然トシテ理化思想ノ涵養ト云フ所ニ覺醒ヲ致シマシテ、種々ナル機關モ設ケラレマシテ、調査研究ハ致シタノデアリマス。其進步ノ十分ナラザル

(八)

○議長(奥第三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシ
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○岩崎勳君 再ビ議事日程變更ノ緊急勸議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出銅、眞鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ求メテ審議シ、之ガ審議ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ行ヒ、次ニ政府提出、貴族院送付銃砲火藥類取締法中改正法律案、及政府提出、壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案ヲ一括議題ト爲シ、其一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ盡サレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(贊成「下呼フ者アリ」)

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ勸議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(下呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、銅、眞鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、神野大藏次官

銅、眞鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案

(政府提出)

第一讀會

銅、眞鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入稅表中第四百六十四號及第四百七十一號ニ掲クル物品ノ輸入稅ハ當分ノ内同表ニ依ラス別表ニ依ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

品名	單位	稅率
一 塊及錠	每百斤	七・〇〇
二 條及竿	同	一五・〇〇
三 板	同	一六・二〇
四 線	同	同
甲 金屬ヲ鍍セサルモノ	同	一九・三〇
イ 徑〇・五ミリメートルヲ超エサルモノ	同	一五・七〇
乙 其ノ他	同	同
乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ	同	二〇・四〇
五 撚合線	同	同
六 筒及管	同	三
甲 金屬ヲ鍍セサルモノ	每百斤	二一・二〇
乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ	同	三

品名	單位	稅率
七 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	每百斤	七・〇〇
眞鍮及青銅	同	七・〇〇
一 塊及錠	同	同
二 條及竿	同	同
甲 スチウムタービン用ノモノ	同	二一・〇〇
乙 其ノ他	同	一二・六〇
三 板	同	一二・八〇
四 線	同	一五・〇〇
五 筒及管	同	一七・五〇
甲 金屬ヲ鍍セサルモノ	同	一九・五〇
乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ	同	三八・三〇
六 箔	同	同
七 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	同	七・〇〇

備考 從價稅率ノ單位ハ圓トス

〔政府委員神野勝之助君登壇〕

○政府委員(神野勝之助君) 銅、眞鍮及青銅ノ輸入ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、銅鑛業ハ古來本邦ノ重要産業ノ一ツデアリマシテ、歐洲戰爭前ニ於キマシテハ、生産額ガ六七万佛噸、輸出額ガ四五万佛噸ニ達シテ居リマシタデアリマス、戰時中銅ノ需要ガ激増致シマシテ、之ニ促サレテ、大正六年ニ於テハ、生産額ガ十萬八千佛噸ノ巨額ヲ產出スルニ至リマシタデアリマス、然ルニ戰後世界ニ於ケル銅ノ需要ガ激減致シマシタ結果ト致シマシテ、價格ノ下落ガ甚シク、大正五六年頃ニ百斤當リ七十四圓ノ相場ヲ保ッテ居タ電氣銅ガ、昨年中ニハ四十圓内外ニ暴落致シマシタ爲ニ、銅鑛業ノ經營ハ頗ル困難ニ陥ッタデアリマス、加之戰時中ニ生産過剩ニ陥ッテ、戰後其販路ニ窮シテ居タ外國ノ銅ガ、本邦產銅ノ生産費ニ比較致シマシテ、著シク廉價ヲ以テ續々輸入セラル、ト云フ事實ガ生ジタノデアリマス、之ガ爲ニ本邦銅ノ鑛業ハ、非常ナル窮境ニ陥ッタデアリマス、御承知ノ通り我國ニ於ケル銅ノ鑛業ハ本邦産業上重要ナルモノデアリマシテ、若シ此際ニ自然廢滅ニ傾クト云フヤウナコトガアリマシテハ、是ハ單リ之ニ從事スル關係業者ノ利害ニ關係スル許リデナク、國家的産業ノ見地カラ見マシテモ、之ヲ等閑ニ付シテ置キ難イモノト考ヘマス、尤モ外國銅ノ廉價輸入ハ永久ニ繼續スルモノデアラカドウト云フコトハ、疑問ノ餘地ガアラウト考ヘマサルカラ、當分ノ中ト致シマシテ、銅及其合金タル眞鍮、及青

銅ニ限リテ其稅率ヲ高メマシテ、以テ此場合ニ於ケル本邦ノ銅産業ヲ保護セントスル趣意デアリマス、何卒御協賛アラシコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 右議案ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕(贊成「下呼フ者アリ」)

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ勸議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ勸議ノ如ク決シマシタ、銃砲火藥類取締法中改正法律案、壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、吉木陽君

銃砲火藥類取締法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 銃砲火藥類取締法中改正法律案(政府提出貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十一年三月九日
銃砲火藥類取締法中改正法律案委員長 吉木 陽

衆議院議長奧繁三郎殿

壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十一年三月九日
壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案委員長 吉木 陽

衆議院議長奧繁三郎殿

〔吉木陽君登壇〕

○吉木陽君 銃砲火藥類取締法中改正法律案、竝ニ壓

縮小及液化瓦斯取締法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ
御報告申上デマス、銃砲火藥類取締法中改正法律案ノ
趣旨ハ、從來軍用ノ銃砲火藥類ト云フモノ
ノ製造ハ、官廳自體ガ致シテ居リマシテ、之ヲ民間ニ許シテ
居ナカッタデアリマス、或ル特別ノ條件以外ハ許シテ居
カッタデアリマス、之ヲ民間ニ許サウト云フ事ガ主ナル一
ツ、今一ツハ狩獵用、射的練習用、發火演習用等ニ使ヒマ
スル加工品、即チ狩獵、實砲及空砲ノ製造ヲ、命令ノ規定
デ適當ノ條件ヲ定メタ場合ハ、行政官廳ノ許可ヲ受ケズニ
民間デ之ヲ製造スルコトヲ許ス、斯ウ云フ趣旨ナデアリマ
ス現在ノ法規デハ軍用ニ非ザル銃器、火藥類ハ、之ヲ民間
ノ製造ヲ許シテアリマスケレドモ、其他ノ軍用ノ銃器及火
藥類ハ、行政官廳ノ委託ヲ受ケタル場合、及行政官廳ノ許
可ヲ受ケ、檢出ノ目的ヲ以テ製造スル場合、行政官廳ノ許可
ヲ受ケテ新規發明ニ係ルモノヲ、一定ノ期間ノ間試驗ノ爲ノ製
造スルコト云フ時ニ、此銃砲ノ製造ヲ民間ニ許シテ居
デアリマス、又火藥ノ方ニ於キマシテハ、行政官廳カラ委託
ヲ受ケタル場合、行政官廳ノ許可ヲ受ケ軍用火藥類ヲ製
造シ、又ハ變形若クハ修理スル場合、行政官廳ノ許可ヲ受
ケ、新規發明ニ係ル火藥類ヲ一定ノ期間ノ間製造スル場
合、及行政官廳ノ許可ヲ受ケマシテ、行政官廳ノ委託ニ依
テ製造シタルモノヲ少シ餘分ニ造ルト云フ事ノミガ許サレ
居タノデアリマス、之ヲ廣ク一般ニ民間ニ製造スルコトヲ
許スト云フノ趣旨デアリマス、從來斯ウ云フ規定デ民間
ニ之ヲ製造ヲ許サナカッタハ、主トシテ保安上並軍事上ノ
趣旨カラ出テ居タノデアリマス、及民間ノ工業ガ未ダ幼稚
デアッテ、之ヲ民間ニ許可スルニ適當デナイト云フ見解ニ立
テ居タノデアリマス、今ヤ民間ノ工業モ相當ニ發展致シ
マシテ、之ヲ民間ニ許可スルニ於テモ、相當ノ製法ヲ得ルコ
トガ出來ラデアラウト云フ見込モ確立シテ居リマス、且
ツ保安上カラ觀マシテモ、警察ノ取締モ相當ニ行届イテ居
リマス、又軍事上ノ見解カラ言ヒマシテモ、之ヲ民間ニ許
可シテ置イテ、平時ニ於テ銃砲火藥類ノ製造ト云フコトヲ
民間ニ相當熟練サセテ置クコトハ、一朝有事ノ日ニ於テ國
家ノ爲ニ有利ナリトノ見解ノ下ニ立テマシテ、此法律ノ改
正ヲ企テタ所以デアリマス、又從來火藥ノ製造ニ於キマシ
テハ、理化學ノ實驗ニ、許シテ居ラレマシテ、其他ノ方面
ニ於テハ一般ノ人ニ許シテナカッタデアリマス、今回之ヲ
乙種ノ狩獵免狀ノ下付ヲ受ケテ居ル者、學術研究ノ爲ニ
鳥獸捕獲ノ許可ヲ受ケテ居ル者、有害鳥獸驅除ノ爲ニ捕
獲ノ許可ヲ受ケテ居ル者、有害鳥獸捕獲ノ爲ニ銃器發射
ノ許可ヲ受ケテ居ル者、射的場ニ於テ射的演習ヲ爲ス者、
中學校又ハ是ト同等以上ノ學校デ發火演習ヲ爲スト云フ

ヤウナ者ニ對シテハ、狩獵ノ實砲又ハ空砲ノ如キ加工品即
チ藥莖ノ中ニ雷管、火藥、散彈等ヲ入レルト云フ簡單ナ事ハ
之ヲ許スモ差支ナカラウ、許可ナクシテ之ヲ許スモ差支ナカ
ラウト云フ意味、改正ガ行ハレタデアリマス、委員會ニ
於キマシテハ、慎重審議ヲ重ネマシタ結果、原案ガ適當ダラ
ウト云フコトデ可決スルコトニ決シタデアリマス、唯此間ニ
於キマシテ委員會山本參太郎氏ヨリ、此法案ニ依ッテ見ルト、
民間ノ銃砲火藥類ノ製造ト云フ事ヲ振興スルノガ此法案
ノ目的デアル、然ルニ今火藥類ノ製造ニ對シテハ、內務省ノ
取締規則ニ依ッテ、火藥類ノ製造ニハ規定ガ面倒ニナッテ居
ル、之ヲ英國、米國等ノ規定ニ比シテモ、餘程日本ノ方ガ面
倒ニナッテ居ルヤウニ思ハレル、即チ火藥類ノ製造ト云フ事
ニ對シテハ、工場ト工場ノ間ノ間隔デアルトカ、或ハ其周圍
ノ障壁デアルトカ云フヤウナモノニ對シテ相當面倒ナ規定
ガアル、斯ノ如クニシテ一方ニ於テハ陸軍自體ニ於テハ、此
省令ノ規定ノ束縛ヲ受ケテ居ラナイカラ、陸軍ハ非常ニ簡
單ナ方法ニ依ッテ此製造ヲシテ居ルデアアル、サウ云フ風デ
アッタナラバ、民間ノ製造工業ニハ外國ニ比シ又陸軍等ニ
比シテ、非常ニ資本金ヲ多額ニ要スルト云フコトニナルノデ
經濟上ニ於テ實際立行クコトガ出來マイト思フカラ、此法
律改正ト共ニ內務省ノ取締規則モ改正スルノ意思ハナ
イカト云フヤウナ意味ノ質問ガアリマシテ、內務省ニ於テモ相
當考慮シテ、此方面ニ對シテモ熟考ヲ重ネヤウト云フ聲明
ヲ得タノデアリマス、ソレ以外別ニ委員會ニ於テハ質問等モ
ゴザイマセヌデアリマス、コレニナリマシタ、ソレカラ壓縮瓦斯
及液化瓦斯取締法案、是ハ從來此取締法ハナカッタデア
リマス、近時酸素デアルトカ、水素デアルトカ、アセチレン
瓦斯デアルトカ、炭酸瓦斯デアルトカ「アンモニア」瓦斯デア
ルトカ、鹽素亞硫酸等ノ瓦斯ヲ壓縮シタリ、又ハ液化致シ
マシテ之ヲ罐ニ詰メテ、化學工業ノ鐵ノ鑄造デアルトカ、
或ハ鑄造シテ之ヲ切ル方面ニ使フタカ、或ハ冷凍用——物
ヲ凍ラス方面ニ使フタカ云フヤウナ、隨分斯ウ云フモノ、用
途ガ廣クナリマシタノデ、自然其製造、貯藏、運搬ト云フ事ガ
煩雜ニ行ハレルヤウニナッタデアリマス、其間ニ往々ニシテ
爆發ヲ致シマシテ、人畜ニ或ハ財產等ニ非常ノ損害ヲ與ヘ
タ事例ガ澤山アルデアリマス、ソレデ本法案ヲ設ケマシテ、サ
ウ云フ損害ヲ豫メ防ギタイト云フノガ本法案ノ趣旨デアリマ
ス、是亦委員會ニ於キマシテモ慎重審議ノ結果、適當ナル
モノト認メマシテ、可決スルコトニナリマシタ、ドウカ本會ニ
於キマシテモ委員會ノ決定通り可決確定アラント希望
シマス（拍手）
○議長（奧繁三郎君） 此兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ
ヲ御諮リ致シマス

（「第二讀會ヲ開クニ異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（奧繁三郎君） 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト
認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○岩崎勳君 兩案ヲ一活シテ直ニ其第二讀會ヲ開キ、第
三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定アラント
ヲ望ミマス
（「贊成」「贊成」ノ聲起ル）
○議長（奧繁三郎君） 岩崎君ノ勸議ニハ御異議ナシト
認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス
銃砲火藥類取締法中改正法律案 第二讀會（確定議）
壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案 第二讀會（確定議）
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（奧繁三郎君） 御異議ナシト認メマス、仍テ此兩
案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ——日程第十
六、肥料官營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、津野田是
重君
第十六 肥料官營ニ關スル建議案（津野
田是重君外三名提出）
肥料官營ニ關スル建議案
肥料官營ニ關スル建議案
目下我カ國ノ農村ハ各必要ノ時機ニ於ケル肥料ノ暴騰
ニ至大ノ苦痛ヲ感シツアリ、若今日ノ趨向ヲ此ノ儘ニ
放置スル時ハ帝國ノ基礎ニモ惡影響ヲ及ボスコトナキヲ
保セス故ニ政府ハ農村救済ノ一手段トシテ先ツ肥料ヲ
官營ニセラレムコトヲ望ム
右建議ス
○津野田是重君 事簡單デアリマスカラ此席カラ御許ヲ
願ヒマス、農村ノ現況ハ諸君御承知ノ通りデアリマス、色々救
済乃至解決ヲスベキ問題ハ多クアリマス、其中最も必要
ナルモノハ此肥料ノ官營ト思ハレマス、最近ノ農商務省ノ
統計ニ依リマシテ毎年ノ消費額ガ各種肥料ヲ集メマシテ
約六億五千萬圓ニ達シテ居リマス、斯ノ如ク多額ヲ要シマ
スル肥料ガ、恰モ之ヲ施スベキ時期ニ於キマシテ暴騰ヲ致
シテ、中産以下ノ農民ハ頗ル困難ヲ感ジマス、此肥料ノ農
村ニ重要ナル事ハ諸君モ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ之
ヲ官營ニ致シマシテ、其價格ヲ勢テ統一ニ致シ、又十圓ノモ
ノハ八圓、八圓ノモノハ六圓ト云フ如クニ之ヲ切下ゲテ參
リマシタナラバ、農村ハ頗ル此恩惠ニ潤フコト、思ヒマス、故

○鈴木錠藏君 本案ハ土地井權大君提案ノ農業組合法案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ 日程第十七、郡町村連絡直通電話特設獎勵ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、佐久間啓莊君

第十七 郡町村連絡直通電話特設獎勵ニ關スル建議案(佐久間啓莊君提)

郡町村連絡直通電話特設獎勵ニ關スル建議案 郡町村連絡直通電話特設獎勵ニ關スル建議案 郡役所ト其ノ管轄スル町村トヲ連絡直通スル電話ノ架設ハ刻下ノ急務ナリト認ム政府ハ相當ノ獎勵法ヲ設ケ其ノ架設ヲ速ナラシメムコトヲ望ム

○佐久間啓莊君 只今議題ニナリマシタ郡町村連絡直通電話架設獎勵ニ關スル建議案ヲ提出致シマシタ理由ノ概略ヲ中上ゲテ諸賢ノ御賛成ヲ願ヒタリト思ヒマス、御承知ノ通り地方行政事務ガ滞滯延延ヲ致シマシタ、上下ノ不便ヲ致シマシタコトハ海ニ遺憾ナコトデゴザイマス、殊ニソレガ爲ニハ幾多ノ經費ヲ損失シマシタコトデゴザイマス、上下共ニ遺憾トシテ居ル所デゴザイマス、其地方事務ガ滞滯延延ヲ致シマシタ原因ハ固ヨリ多クアリマス、レドモ、其中郡役所ト町村役場トノ間ニ於テ事務ノ滞滯スルコトガ甚シクアリマス、郡役所ノ事務滞滯ノ原因ハ、多ク町村役場ノ事務ノ滞滯ニ原因スルノデアリマス、町村役場ノ事務ノ滞滯シマスルノハ、是亦多種ノ事情ガゴザイマスガ、御承知ノ通り町村長ノ事務ハ頗ル多種多様ニ互テ居リマス、町村長トシマシタハ、第一ニ上司トシテハ郡役所ヲ裁キ、其次ニハ稅務署アリ、或ハ區裁判所アリ、聯隊區アリ、是等ノ上司ニ對シテ一々事務ヲ處辨シテ居ルニヤナラヌ、ノデアリマス、其ノ上ニ非公式ニモ町村農會、或ハ畜産組合、或ハ蠶業組合、或ハ軍人分會、或ハ赤十字社婦人會ノ世話マデモ致サニヤナラヌ、向ホ加ヘテハ時ニハ地方ノ寄附行爲マデモ役場デハ世話セニヤナラヌヤウナ状態デアリマス、サウ云フ錯雜ノ事務ヲ執テ居リマス、ソレニ加ヘテ町村役場吏員ハ、他官廳ノ吏員ニ比シテ非常ニ員數ガ少クアリマス、且又吏員ノ待遇ナリ、地位ナリ、頗ル薄ク低クアリマス、相當ノ人物ヲ得ルコトガ難イデアリマス、爲ニ事務ハ益々錯雜シテ參リマス、斯ノ如ク人員ハ少ク、有爲ノ人物ヲ得ルコトハ乏シクアリマス、隨テ一事件ヲ處理シマスルノニモ、數時間ヲ費シ、其上不明明ノ點ガアレバ一々郡役所ニ行デ問合セマス、或ハ脚夫ヲ發シテ問合ハスル等頗ル時間ヲ要シ

マス、ソレニ直待或ハ即決ヲ要スル等ノ急事件ガ出來シマシタル時ハ、其利害關係ハ頗ル重大ナルニモ拘ラズ、直ニ處辨スルコト能ハズシテ、人民ハ非常ニ迷惑スル實例ガ少クナイノアリマス、此困難ヲ救ヒ、錯雜ヲ整理シテ、事務ヲ迅速ニ振ハシムル方法ハ幾多ゴザイマス、セウケレドモ、其中郡役所ト各町村ト連絡シマスル電話ヲ架設シタナラバ、非常ナ便利ヲ得ルコトデアラウト思フデアリマス、殊ニ此電話ト云フ文明ノ利器ヲ樂利僻地ニ至リマシタモ、之ヲ架設シテ、此文明ノ恩澤ニ浴セシムルコト云フコトハ、刻下ノ急務デアラウト存ジマス、是ハ獨リ町村郡、地方廳ガ便利スルノミナラズ、國家ノ行政上ニ於テモ、至大ノ關係ヲ有スルコトデアラウト思ヒマス、私ハ此郡町村ヲ連絡シマスル鐵道網ヲ張ラウト云フコトニ付テハ、數年來ト希望ト計畫ヲ持テ居リマシタノデアリマス、未ダ法案トシテ相當ノ獎勵法モ出來テ居ラヌヤウデアリマス、ドウカ相當ノ方法ヲ設ケテ之ヲ全國一般ニ普及セシメ、内閣ノ一號令ハ直ニ縣廳ニ達シ、縣廳ノ一號令ハ直ニ郡廳ニ達シ、郡廳ノ一號令ハ直ニ各町村ニ達シ得ルヤウニシタナラバ、行政ノ上ニ迅速ヲ加ヘ上下ノ便ヲ得ルコトガ至大デアラウト信ジテ疑ハス速次第デゴザイマス、此事情ニ至リマシタハ、諸賢ハ業ニ既ニ御承知ノ事デアラウト信ジマス、故ニ滿場御一致ノ御賛成ヲ仰ギマス、幸ニ本案通過ノ上ハ當局ニ於テモ速ニ相當ノ設備方法ヲ講ゼラレマシテ、本案ノ希望ノ趣旨ガ、一日モ早ク實現センコトヲ希望スル次第デアリマス

○鈴木錠藏君 本案ハ木下基三郎君外一名提出、電信電話建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、依テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十八、利根運河國有ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、本多貞次郎君

第十八 利根運河國有ニ關スル建議案 本多貞次郎君外六名提出

利根運河國有ニ關スル建議案 利根運河國有ニ關スル建議案 利根運河ハ利根、江戸兩川ヲ聯絡シ治水上經濟上重要ナル關係ヲ有シ物資ノ輸送產業ノ開發上至大ノ利便アルニ係ラス一營利會社ノ經營ニ放任スルコトハ國家百年ノ大計タル治水事業ノ目的ヲ阻害スルヲ以テ政府ハ速ニ利根運河株式會社ニ附與シタル權利ヲ買收シ治水事業ノ完成ト交通運輸ノ利便ヲ増進セラレムコトヲ望ム

○議長(奥繁三郎君) 本多君——本多君ハ出席デアリマセヌカラ……

○本多貞次郎君 本案ハ是迄數回請願書トシテ提出シマシテ、本院ノ採擇ニナラズ居ルモノデゴザイマス、元來性質上一ツノ營利會社ノ事業デゴザイマス、產業ノ開發ノ物資輸送ノ關係上、運河治水ニ重大ナル關係ヲ有スルモノデゴザイマス、故ニ政府ハ宜シク御調査ノ上、速ニ國有ニセラレンコトヲ希望致ス次第デアリマス、宜シク皆サンノ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ前田米藏君外九名提出、多摩川改修費及水源涵養國庫支辨ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十九、原蠶種ノ種類制限ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、武藤金吉君

第十九 原蠶種ノ種類制限ニ關スル建議案(武藤金吉君外七名提出)

原蠶種ノ種類制限ニ關スル建議案 原蠶種ノ種類制限ニ關スル建議案 政府ハ原蠶種ノ種類ヲ限定シ且蠶業試驗場ノ設備ヲ擴張シテ普ク原蠶種ノ製造ニ供用スルニ非サレハ原蠶種ヲ製造セシメサル様蠶絲業法第十八條ニ據リ制限セラレムコトヲ望ム

○武藤金吉君 當席ヨリ發言ノ御許ヲ願ヒマス、原蠶種ノ種類制限ニ關シテ、政府ハ此種類ヲ限定シ、且蠶業試驗場ノ設備ヲ擴張致シマス、普ク全國ニ配付スル原蠶種ノ製造ニ供用シタイモノデアルト思フ、而シテ之ニ用キマスル所ノ蠶ハ、原蠶種製造所デ造テ、此種類ヲ——今日ノ何百種ノ種類ヲ制限致シタイ、蠶絲業法ノ第十八條ニ依ッテ之ヲシテ費ヒタイト云フコト、此建議案ノ趣意デアリマス、御承知ノ通り、養蠶ノ豐凶ハ獨リ此蠶家ノ休戚ニ關係スル許リヤナリ、延テ海外ノ生絲貿易ノ盛衰ニ關係ス、又國家經濟ノ消長ニ大ナル影響ヲ持ツモノデアリマス、之ヲ以テ從來官民共ニ此蠶種ノ改良ニ力ヲ致シテ居リマス、又蠶近蠶種ノ改善ハ稍、其緒ニ就キマシタガ、未ダ其目的ヲ全ク達スルコトニハ及ビマセズ、是ニ於テ農商務省管デヤッテ居リマス、所ノ蠶業試驗場所ヲ擴張シテ、此處デ此原蠶種ヲ送テ、只今全國ニ配付サレテ居ル所ノ其粗惡ナル種類ヲ根絶シテ成立ヲ圖リタイト云フコト、本案ヲ提出シマシタ次第デアリマス、宜シク御賛成ノ上本案ノ目的ヲ達成スルコトヲ願ヒタイト思ヒマス

○植原悦二郎君 提出者ニ質問ガアリマス

○議長(奥繁三郎君) 本多君——本多君ハ出席デアリマセヌカラ……

然リ之ヲ外ニシテハ彼ノ大英帝國醫師會ノ現狀ニ鑑ミ之ヲ内ニシテハ産業界ノ諸團體ニ付テ徵スルモ皆法律ノ保障ニ依リテ基礎ノ安固ヲ見ルニモ拘ラス同會ノ如キ全國の醫師團體ノ今猶法定化セラレザルカ如キ方今幾多ノ時務ヲ處理スルニ其ノ處ヲ得ザルモノナリト信ス政府ハ此ノ點ニ關シ適當ナル方法ヲ講セラレムコトヲ望ム右建議ス

第二十一 國立體育研究所設立ニ關スル建議案(八木逸郎君外十一名提出)

國立體育研究所設立ニ關スル建議案
國立體育研究所設立ニ關スル建議案
政府ハ體育振興ノ爲速ニ體育研究所ヲ設置スヘシ右建議ス

〔八木逸郎君登壇〕

○八木逸郎君 數年前ニ政府ハ現行醫師法ノ一部ヲ改正セラレシメ、現在ノ醫師法ニナリテ居リマスノデアリマス、其際ニ於ケル改正ノ要點ハ、區醫師會、市醫師會、郡醫師會、府縣醫師會ヲ總テ法人ニ致スト云フコトガ主眼デアリマス、而シテ左様ニ改正セラレシメテカラ以來、各道、府縣、郡市、區醫師會ノ活動、醫事衛生ニ貢獻スルコトノ進步ハ頗ル著シイモノガアテ、當業者ハ無論、醫事衛生ノ普及ヲ圖リ、當局ニ於キマシテモ、頗ル銳意發達ヲ圖リ居リマス、然ルニ茲ニ迷惑ナルコトハ、是等ノ法人醫師會ヲ構成分子ト致シテ居リマス、大日本醫師會ハ未ダ法人トナナシテ居ラスノデアリマス、大日本醫師會ハ設立以來七年ニ及ビマシテ、其間ニ政府カラ、醫事衛生上ノ諮問ヲ受ケテ、十分ナル討議、醫事衛生界與論ヲ集メテ答申シ、或ハ醫事衛生當局ノ誤解、或ハ紛擾、是等ニ向テモ能ク圓滑ニ協定シテ、國家ニ盡シテ居ルノデアリマス、而シテ其大日本醫師會ハ、斯ノ如ク國家ニ盡シテ居リマスノ、未ダ法人トナナシテ居ラスコトハ、外ニ致シマシテハ英國ニ於ケル大英帝國醫師會ノ彈ニ倣ヒマシテモ、又内ニ於キマシテハ産業界ノ諸團體ノ彈ニ倣ヒマシテモ、頗ル遺憾ニ感ズル次第デアリマス、故ニ政府ハ此建議ノ趣意ヲ容レテ、大日本醫師會ヲ法人ニスルコトヲ法律ヲ次ノ議會ニ提出セラレンコトヲ希望センガ爲ニ、此建議案ヲ提出シタ所以デアリマス、更ニ茲ニ國立體育研究所ノ設置ニ關スル建議案ヲ提出致シタノデアリマス、國家ヲ存立シ、國家ノ發展ヲ企圖致シマスル要素、澤山アルコトハ申スマデモナク、コトデアリマス、而シテ其多クノ要素ノ中ニ、國家ヲ組織スル國民ノ保健ノ消長ハ無イノデアリマス、但シ吾々國民ガ急性傳染病、若クハ戰ニ依リテ多クノ生命ヲ取ラレ、若クハ何等カノ事柄ニ依テ、非常ニ壽命ヲ短クスルコト云フ事ノ現象ガ、急ニ現レマシタ場合ニ於テハ、經費ノ要ルモノ、若クハ努力ヲ要スルモノニ向テハ、

國民ハ其事ニ向テ避ケル者ガ一人モ無イノデアリマス、併ナガラ何百年、若クハ何千年掛テ自然々々ニ身體ガ弱クナリ、若クハ身體ガ小サクナリ、壽命ガ短クナル、斯ウ云フ事ニ向テハ、目前ニ何等ノ關係ヲ感ジナイガ爲ニ、事ヲ忘却スルコト云フコトガ有リ、事ヲサウシテ我ガ此日本國民ガ保健ニ於テ最モ著シイ事ガアルノデアリマス、委シクハ申シマセ

スガ、皇祖神武天皇ガ我國ヲ御創建シタリマシタ時代ニ於キマシテハ、我ガ國民ハ頗ル今日ヨリ偉大ナリシテ、漸次現在ノ體格ニナリ、現在ノ壽命ニナリテ居ルコトハ、歴史ガ確ニシテ之ヲ證據立テルノデアリマス、委シイ事ハ議長ノ許可ヲ得マシテ、此速記録ニ附加致シマスルカラ、ソレデ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、簡單ニ申シマスレバ、身長ノ點カラ一番短イノデアリマス、而シテ壽命ノ短カインハ、生レテ零年第十番目ニナリテ居ルノデアリマス、又五歳ニ於ケル國民ノ壽命數ノ平均ヲ調ベテ見マス、日本ハ十二番目ニ位スルノデアリマス、而シテ十歳ニ於ケル各國國民ノ完全平均壽命ヲ調ベテ見マス、日本ハ第十三番目ニ位スルノデアリマス、二十歳ニ於ケル者ヲ調ベテ見マス、日本ハ第十五番目ニナリテ居ルノデアリマス、二十番目ニ於テ就レモ皆低イ位置ニ居リマシテ、平均ヨリ上ノ位置ニハ居ラスノデアリマス、是等ノ事ヲ等閑ニ付スルコト云フコトハ、我ガ光輝アル、歴史アル日本國ノ將來ニ向テ注意ヲシ、現在ノ青年ニ向テハ、何等施スベキ事ハアリマセウ、未來ノ少年ニ向テハ、漸次完全ニスルノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト思フノデアリマス、此點ニ向テハ、學校ノ當局者若クハ學校衛生ニ熱心ナ者ガ、多ク色ニテ施設モシ、又攻究ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、如キレバ、現在行ハレテ居リマスル所ノ小學校ノ體育方法ノ如キハ、マルデ外國ノ物ヲ其體移シテ居ルノデ、外國ニ變ヘレバ其變ヘタモノヲ習テ行テ居ルト云フモノハ、マダ現在本ノ國民ニ適合シタ所ノ體育方法ト云フモノハ、マダ現在一ツモ現レテ居ラスノデアリマス、故ニ外國ノ體育方法ト同時ニ、日本ノ體育、弓術、或ハ柔術其他ニ向テモ能ク練習シ、研究シテ、一ツノ日本の――日本國民ニ關スル體育養成法ヲ選定スルコトガ、五十年百年ノ後ニ於ケル計畫トシテ最モ必要ナルコト、考ヘマサル爲ニ、此建議案ヲ提出シタ譯デアリマス(拍手)

○鈴木鏡藏君 日程第二十、及第二十一ノ兩案ヲ一括シテ、伊藤廣義君提出、植物病理研究所設置ニ關スル建議外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成下呼フ者アリ〕
○議長(奧繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第二十二ノ廢兵

優遇及軍人遺族扶助料改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ付シマス、津野田是重君

第二十二 廢兵優遇及軍人遺族扶助料改正正ニ關スル建議案(津野田是重君外三名提出)

廢兵優遇及軍人遺族扶助料改正正ニ關スル建議案

現今廢兵ノ境遇ハ實ニ目撃スルニ忍ビザルモノアリ軍人遺族ノ境遇モ亦然リ政府ハ財政ノ許ス範圍ニ於テ之カ境遇ヲ改善セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔津野田是重君登壇〕

○津野田是重君 廢兵ノ何者カ諸君御承知ノコト、思ヒマスガ、態ニ私此演壇ニ登リマシタノハ、是非御一考ヲ煩ハシタイ事ガアリマス、元來廢兵ト云フ名ガ甚ダ不適當デアリマス、抑、國家ノ爲ニ一身ヲ抛テ戰場ニ倒レタ者ガ、名譽ノ怪我ヲシタノニ、之ニ廢兵ト云フ名ヲ付ケルノガ甚ダ不穩當デアリ、成程軍隊カラ言ヘバ廢兵デアリマセウガ、怪我ヲシテ役ニ立タスカラ廢兵デアリマセウガ、是ハ軍隊カラ言ハシテ適當デアリ、國家乃至國民カラ申セウガ、負傷兵ト稱スルノガ適當デアリ、彼等ノ境遇ハ實ニ憐ムベキモノデアッテ、日露戰爭ガ済ミマシテ、マダ三十年トハ經テマセウガ、今日ニ於キマシテ彼等ハ乞食ト同様ナリ境遇ニ在ルノデアリマス、私ハ戰場ニ於テ死生ヲ俱ニシタ關係上、如何ニモ同情ニ堪ヘマセ、是非ドウカ諸君ノ御一考ヲ煩シタイ事ハ、日露戰爭直後ニ於キマシテハ、約八萬ノ名譽ノ負傷兵ガ居リマシタガ、彼等ハ怪我ノ爲ニ壽命ガ縮マシタ、今日ハ僅ニ二万七千ホカアリマセウ、然ルニ此一万七千ノ者ハ甚ダ憐ムベキ境遇デ、先刻述べタル通り乞食ト同様ノ有様ニナリテ居リマス、之ヲ放擲シテ置クコトハ、國家ノ不名譽ノミナラス、人道上ニモ容易ナラヌ所ノ惡影響ヲ及ボスコト、思ヒマス(拍手)
積年ノ宿願デアリマス、一昨今以來此境遇ニ改善ヲ如ヘル方法トシテ、即チ彼等ノ最高額ノ頂戴致シマス者ハ、僅ニ月二十四圓デアリ、今日ノ物價ニ於キマシテ、到底二十四圓ヲ以テ生命ヲ繋グコトノ出來ナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、何トカシテ最少限五十圓程度マデハ上ゲテ、一日モ早クコンナ彼等ノ慰安ノ方法ヲ與ヘルコトハ、人道上思想上ニ於キマシテモ、大ナル私ハ效果ガアルコト、信ジテ疑ヒマセウ、又近時遺族ノ現況ニ付キマシテモ、言フニ忍ビナイモノガアリマス、其夫乃至父ハ國家ノ爲ニ名譽ノ戰死ヲ遂ケマシタノニ、其遺族ハ實ニ言語ニ絶スル有様デアリマシテ、如何ニ立派ナ家庭ノ人モ生活ニ迫ラレマシテ、到底夫乃至父ガ生キテ居タ時ノ生活狀態ヲ維持スルコトガ出來

此建議案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、此建議案ノ趣旨ハ、現下ノ公娼制度ヲ斷然廢止スル方ガ宜シクハナイカ、斯ウ云フ意味ノ建議デアリマス、若シ現下ノ公娼制度ヲドウシテモ廢止スルコトガ出來ナイト云フナラバ、目下ノ公娼ノ營業ノ方法ニ關シテ、何等カ適當ナル改善ヲ爲スノ策ハナシ、之ヲ計畫スベキモノデアリス、斯様ナ趣旨デアリマス、此公娼廢止ト云フコトハ明治初年ニ於テ、我が政府ハ疾ク之ヲ斷行致シタ、當時ノ公娼全部ヲ解放致シテ、而シテ公娼業者ノ之ニ授ジテ居ル資本金ノ如キモノハ、一種ノ贓物デアルト云フコトヲ司法省ノ達デ天下ニ宣旨致シマシテ、貸座敷業者ノ資本ト云フモノハ贓金デアルト云フ、此大膽ナ言明ヲ致シタデアリマス、今日ノ如ク法律制度ノ進シタル場合ニ於テ、之ヲ贓金ト見ル迄大膽ナル斷定ヲ下スコトハ出來ナイト思ヒマス、併ナガラ此明治初年ニ於テ公娼ハ斷然廢止セラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ事實ニ於テハ今日依然トシテ人身賣買ノ實行ハレテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、法律ヲ治ル爲ニ一方ニ金錢ノ貸借ヲ假シ、一方ニ貸座敷ニ於テ其業務ヲ營ムト云フコトハ、極テ任意自由ナル約束ノ下ニ成立シテ居ルヤウニ仕組マレテ居リマス、其情ハ依然トシテ舊態ヲ改ムルコトガ出來ナイコトニナリテ居リマス、即チ自由廢業ヲ爲サントスレバ警察官ハ口實ヲ設ケテ容易ニ之ガ認可ヲシナイ、而シテ憲法ノ保障ニ依リテ與ヘラレテ居ル所ノ人身ノ自由ト云フモノハ、殆ド無イト云ウテ差支ハ無イトデアリマス、一度外出セントスレバ非常ニ煩瑣ナル手續ヲシテ、ソレモ許可セラレル場合アリ、又許可セラレザル場合ガアル、殊ニ樓主ノ意思如何ニ依リ、此自由ト云フモノガ全然蹂躪サレテ居ルト云フ現狀デアリマス、今日ハ金錢貸借ト云フコトニ名義ハ借リテアリマス、其質ハ矢張人身賣買デアルト私ハ斷定シテ憚ラヌ、斯ノ如キ制度ヲ世界ノ強國デアリ文明國デアルト稱スル我ガ帝國ノ法制ノ上ニ之ヲ認メ、現實ニ斯ノ如キ事ヲ公許致シテ置クト云フコトハ、非常ナル國辱デアルト私ハ考ヘマス、國辱デアリノミナラズ、婦人ニ對スル非常ナル凌辱デアリ、男子ノ側ニ於ケル者モ聯帶責任ノ義ニ在テ非常ナル不名誉デアルト私ハ考ヘマス、斯ノ如キ狀態ニ在ル人ガ凡ソ何人アルカト申シマス、約五万人アリマス、全國五万人ノ公娼ハ殆ド奴隸ニ等シキ境遇ニ在テ、官民カラ非常ナル人權ノ壓迫ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、爭フベカラザル事實デアルト存ジマス、此故ニ斯ノ如キ非文明ナル制度ハ寸時モ早く廢止致シマシテ、サウシテ五万人ノ弱キ貧民ノ子コトガ對シテ相當ナル救済ヲ與ヘ、人權ノ擁護ヲスルト云フコトガ對シテ一大急務デアルト私ハ考ヘマス、只今津野田君カラ廢兵及軍人ノ遺族ニ對スル待遇ノ方法ニ付テ御演說中ニ、現ニ一万余餘ノ言フニ忍ビザル生活ヲ致シテ居ル廢兵ガ居ルト云フ狀態ヲ御達ニナリマシタ、洵ニ津野田君ノ御話ノアリマシタ通り、吾々ハ非常ニ同情スベキモノ

デアルト考ヘマス、同時ニ其心ヲ以テ此貧民ノ子女デアル所ノ五万人ノ奴隸ニ等シキ待遇ヲ受ケテ居ル者ニ對シテモ、多少ノ考慮ヲ爲スベキ必要ガアルト考ヘマス、或ハ普通選舉デアルトカ、或ハ婦人選舉デアルトカト云フヤウナ問題ガ提供サレテ居リマス、私ハ斯ノ如ク婦人ノ權利ヲ認メルト云フヨリモ、先ヅ蹂躪セラレテ居ル所ノ婦人ノ權利ノ救済ト云フ方ガ、寧ろ急務デアルト存ジマス、私ハ人ノ權利ノ救済ノ名ニ依リテ之ヲ諸君ニ要求致シマス、又人權擁護ノ見地カラ之ヲ諸君ニ向テ要求ヲ致スデアリマス、第二段ノ建議トシテ一言致シテ置キタイハ、若シ現下ノ制度ヲ廢止スルコトガ出來ナイト致シマス、之ヲ現狀ニ抛擲シテソレデ吾々ハ之ニ甘シズルコトガ出來マセウカ、出來マセウカ、斯ノ如キ非現代ノ大廈高樓ノ中ニ五万人ノ婦女ヲ拘禁シテ、奴隸ノ如キ待遇ヲ與ヘル、而シテ之ヲ國家ノ名ニ於テ公許致シテ居ル、常ニ日本ニ來住致ス所ノ外國人等モ之ヲ見物シテ、嘲笑ノ批評ヲ下シテ居ルト云フコトハ、諸君モ御承知ノ通りデアリマス、故ニ此今日ノ遊廓制度ニ對シテハ、一大變革ヲ加フル必要ガアルト吾々ハ確信スルノデアリマス、詳細ナル事ハ御質問ガアルレバ委員會ニ於テ私ノ持テ居ル智識ニ基キマシテ、如何様ニモ御答辯申上ゲマス、何卒御賛成アラント希望致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ清瀨一郎君外一名提出……

○副議長(粕谷義三君) 少々御待テ願ヒマス——質疑ノ通告ガアリマス

○吉良元夫君 撤回致シマス

○副議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ハ取消サレマシタ、鈴木君

○鈴木錠藏君 本案ハ清瀨一郎君外一名提出、治安警察法中改正法律案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十五、寛仁、文永及弘安ノ役ニ於ケル殉難志士奉祀ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——中村清造君

第二十五 寛仁、文永及弘安ノ役ニ於ケル殉難志士奉祀ニ關スル建議案

(中村清造君外三名提出)

寛仁、文永及弘安ノ役ニ於ケル殉難志士奉祀ニ關スル建議案

國家ニ偉勳功業アル士ヲ奉國一致シテ奉齋祭祀スルハ日本國民ノ美風、崇倫ニシテ國民道德ノ基礎亦實ニ此ニ存ス古來偉勳功業ノ士渺々ラスト雖一朝緩急ノ秋ニ際シ決然奮起シテ潔ク國難ニ殉シ千秋ノ下國民ヲシテ感奮激勵セシメタル幾多志士ノ遺烈ヨリ偉ナルハナシ明治維新以後靖國神社ヲ建設シ維新以來殉國盡忠ノ士ヲ奉齋祭祀セラルルニ至リタルハ完ニ國家ノ公儀盛典ト謂フヘキナリ然ルニ往昔寛仁ノ刀伊來寇及文永弘安ノ兩度蒙古來寇ノ際ニ於ケル殉國盡忠ノ英靈カ不祀ノ鬼トシテ全ク顯ミラレザルハ吾人ノ最遺憾トスルコトナリ想フニ刀伊及蒙古ノ來襲タル實ニ皇國ノ歴史中稀ニ見ルノ外寇ニシテ寛仁ノ役ニ於テハ、筑前、壹岐、對馬ノ士民殺戮ニ遭フモノ、四百九十七人掄掠ニ遭フモノ、千二百五十九人又文永弘安兩役ノ一大國難タリシハ國民ノ同知スルコトコロニシテ今更喋々ノ言ヲ俟タルナリ而シテ是等不慮ノ變ニ際シテハ地方ノ將士挺身國難ニ赴ケリ其ノ殉難盡忠ノ跡ハ歷々トシテ百世ノ下國民シテ感奮興起シ其ノ血氣ヲ沸騰セシメマスハアラシク是等ノ戰役ニ懸レタル忠勇諸士ノ英靈ヲ奉祀シ以テ永ク後世ニ顯彰シ今日世界思潮ノ推移ニ際シ國家的精神ヲ喚起セシメ對外ノ義勇氣ヲ養成スルノ一助タラシムヘキナリ即チ刀伊賊ヲ擊退シ其ノ禍根ヲ斷チタル殊勳者太宰權帥藤原隆家、元使ヲ斬リテ國威ヲ耀シ國民民ノ敬慕心ヲ振作シタル勇斷者鎌倉執權北條時義ヲ始メ其ノ氏名ノ史上ニ詳ナラサル多數ノ殉國者ヲ奉祀シ其ノ顯座ノ位置ヲ刀伊賊及蒙古賊來寇防禦ノ地タル北九州ニ擇ミ國費ヲ以テ該國ノ一大神社ヲ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○青柳郁次郎君 中村君ガ居リマセヌカラ私ガラ……

○副議長(粕谷義三君) 青柳君

○青柳郁次郎君 本案ハ寛仁年間ニ於ケル刀伊賊ノ來寇並ニ文永弘安ノ役、即チ元寇ノ役ニ於ケル殉難志士ノ英靈ヲ祭祀致シタイト云フ建議デアリマス、凡ソ國家ニ偉勳功業アル士ヲ祭祀マサルト云フコトハ、我が國民ノ美風デアリマシテ國民道德ノ淵源亦實ニ此點ニ存スルコト、思フノデアリマス、古來偉勳功業ノ士渺々ラスト雖モ、國家ノ危機ニ際シテ奮然起テ國難ニ殉ジ、千秋ノ下國民ヲシテ感奮興起シ能ハザラシメタ志士ノ遺烈ヨリ偉大ナルモノハナカタク思フノデアリマス、是等ノ志士ノ英靈ヲ祭祀スルト云フコトハ、殉ニ意義アル事ト思フノデアリマス、我國ニ於キマシテハ維新以後靖國神社ヲ建設セラレマシテ、維新以來ノ殉難志士ノ忠魂ヲ祭祀致シテ居リマス、洵ニ新ニ悅バシ事デアリマス、是ハ實ニ我國ノ公儀盛典ト謂フベキデアルト思ヒマス、然ルニ爰ニ吾々ガ最も遺憾トスル所ノモノハ往昔寛仁年中ニ於ケル刀伊賊ノ來寇並ニ元寇ノ役ニ際シマシテ、殉難志士ノ英靈ガ全ク顯ミラレザル狀態ニ在ルト云フコトデアリマス、惟ク刀伊ノ賊並ニ元寇ノ役ハ我が歴史中稀ニ見ル所ノ一大國難トシテ洽ク國民ノ知テ居ル事實デアリマシタ、今更之ヲ喋々スルニハ及バナイ

ト思ヒマス、是等ノ殉難志士ノ英靈ガ全ク顧ミラレナイト云フコトハ、洵ニ私共遺憾ニ存ジマス、殊ニ此戰難地ニ生レマシタ私共致シマシテ、殊更其感ヲ深クスルノデアリマス、國家ハ宜シク是等ノ英靈ヲ祀リマシテ、永久ニ之ヲ後世ニ顯彰シマシテ、今ヤ世界思潮ノ推移ノ時ニ當リマシテ國家的精神ヲ喚起シ、對外ノ護國ノ精神ヲ涵養スルノ一助ト爲スベキデハナカラウカト思フノデアリマス、即チ刀伊賊ヲ撃退シ其禍根ヲ斷チタル殊勲者太宰權帥藤原隆家ヲ始トシテ、元寇ノ役ニ元ノ使ヲ破リマシテ國威ヲ耀シ、國民ノ敵愾心ヲ喚起致シマシタ果斷英邁ナル時ノ執權北條時宗ヲ始ト致シマシテ、史乘ニ名ヲ留メザル幾多ノ英靈ヲ祭祀致シマシテ、其鎮座ノ位置ハ刀伊賊並ニ蒙古ノ來襲防戦ノ地デアル所ノ北筑ノ地ヲ撰ビマシテ、護國ノ一大神社ヲ建設セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、ドウカ諸君ノ御賛同ヲ乞ヒマス(拍手)

第二十六

宮崎神宮勅祭社陞進ニ關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

宮崎神宮勅祭社陞進ニ關スル建議案
宮崎神宮勅祭社陞進ニ關スル建議案
肇基創業ノ大皇帝神武天皇奉祀ノ神社宮崎神宮ハ國家最高ノ待遇ヲ見ルヘキモノト認ム依テ政府ハ右神宮ヲ勅祭社ニ陞進シ國家尊崇ノ重ヲ示シ國民欽仰奉拜ノ念ヲ深カラシムヘシ
右建議ス

〔長峰與一君登壇〕

○長峰與一君 本建議案ハ肇基創業ノ大皇帝神武天皇ヲ奉祀致シマシタル、官幣大社宮崎神宮ハ國家最高ノ待遇ニ致シマシテ、國家尊崇ノ至重ナルコトヲ國民ニ示シ、併セテ國民欽仰奉拜ノ念ヲ深カラシメント云フ趣旨ノ建議案デアリマス、何卒滿場一致御賛同アラント希望致シマス(拍手)

〔贊成セテ呼フ者アリ〕

○鈴木錠藏君 本案ハ高草美代藏君提出、檉原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外五件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十七、吉野

松坂間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、萩田悅造君

第二十七

吉野松坂間鐵道敷設ニ關スル建議案(萩田悅造君外一名提出)

吉野松坂間鐵道敷設ニ關スル建議案
吉野松坂間鐵道敷設ニ關スル建議案
奈良縣吉野ヨリ三重縣松坂ニ至ル交通路線ハ和歌山市ヨリ松坂町ニ達スル關西地方交通幹線ノ一部ニ當リ沿道各地大森林アリ林產物及農產物頗ル豐饒ナルノミナラス古來關西方面ヨリ伊勢大廟ニ參拜スル捷路トシテ最頻繁ニ往來セルモノナリ此ノ地方ノ富源ヲ開發シ併セテ參宮ノ利便ヲ圖ルカ爲メ鐵道ヲ敷設スルノ緊要ナルヲ認ム政府ハ宜シク速ニ其ノ計畫ヲ立テ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔萩田悅造君登壇〕

○萩田悅造君 本案提出ノ趣旨ヲ簡單ニ説明致シマス、奈良縣吉野町カラ高見山ヲ越エマシテ、三重縣ノ松坂町ニ達シマスル線路ハ、即チ伊勢街道並和歌山街道ニ沿フモノデアリマス、和歌山市ト松坂町ト直線ノ二連絡シテ居ル交通幹線ノ一部ニ當テ居ルノデアリマス、サウシテ古來此線路ハ人馬ノ往復頻繁ヲ極メマシテ、殊ニ關西ノ地方カラシテ、伊勢大廟ニ參拜スル者ガ往還何レカ必ズ此道ヲ通ジタモノデアリマス、又此線路ハ途中ニ吉野ノ大森林並ニ鎌田ノ大森林ガアリマシテ、此大森林地帶ヲ橫斷シテ居リマシテ、其沿道各地カラ年々產出致シマスル所ノ林產物ハ、數百萬圓ノ巨額ニ達シ居ルノデアリマス、然ルニ私設鐵道ガ開通サレテ居ル外ハ、未ダ鐵道ヲ通ジテ居ラスデアリマス、茲ニハ鐵道省ニ於キマシテ此線路ノ調査ヲ遂ゲラレマシテ、其結果ハ最モ有望ナルヤニ聞イテ居リマシタガ、本年議會ニ提案サレマシタル所ノ鐵道敷設法改正案ニハ、僅ニ此一部デアアル所ノ吉野榛原間ノ一部ニ互テ居ル所ノ吉野榛原間ヲ附加ヘタニ過ギナイノデアリマス、未ダ以此關西地方間於キマスル交通ノ一大幹線ニ於テ、鐵道ヲ完成スル計畫ヲ見ナイノデアリマシテ、是ハ洵ニ本員等ノ遺憾トスル所デアリマス、本員等ハ此地方ヲシテ文明ノ惠澤ニ均霑セシメマシテ、且ツ關西地方ノ參宮者ノ利便ヲ圖リタイト云フ趣旨ヲ以テ提案致シタノデアリマス、ドウカ滿場諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス
○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案外十件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト

認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十八、恩給制度改正調查委員會設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、高木正年君

第二十八

恩給制度改正調查委員會設置ニ關スル建議案(三浦得一郎君外四名提出)

恩給制度改正調查委員會設置ニ關スル建議案
恩給制度改正調查委員會設置ニ關スル建議案
現行官吏恩給法及軍人恩給法ハ執レモ明治二十三年ノ制定ニ係リ其ノ後數次ノ改正ヲ施シタルモ一時ノ彌縫策ニ止リ尙不備不公平ニシテ現狀ニ適セサル點多シ政府ハ速ニ官民合同ノ改正調查委員會ヲ設ケ複雑ナル恩給及各種退隱料法規ノ統一ヲ圖ルト共ニ根本的ニ改正ノ舉ニ出テラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔高木正年君登壇〕

○高木正年君 長イ間建議案デ御迷惑ニナタ末ニ、長イ演説ヲ致スコトハ自分自ラモ餘リ賢明ナ事トハ思ヒマセヌカラ、極テ言語ヲ節約致シテ筋ダケヲ申上ゲル積リデアリマス、少シノ間御聽ヲ願ヒタイ(謹聽)下呼フ者アリ、尙ホ御斷リヲシテ置カナゲレバナラヌ事ハ、甚ダ失禮デアリマスガ病氣ノ爲ニ咽喉ヲ卷イテ居リマスガ、是ハ前例ニ依リマシテ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、三浦得一郎君及私共ヨリ提案致シマシタ此建議案ノ趣意ハ、必シモ在郷軍人ノ要求ニ依リ又ハ文官退職者ノ請ニ依テ之ヲ爲スノデアリマセヌ、實ニ恩給法ハ二十三年前ノ制定ニ係リテ居リマシテ、而モ時代ノ過グルコト數十年、多岐多様ニ互テ居リマシテ、而モ拾スベカラザル狀態ニ在ルト言テモ宜シイノデアリマス、四十三議會横田法制局長官ハ政府ヲ代表スル立場ニ於テ政府ハ早晩恩給制度ノ根本改正ヲ爲スベキ考慮ヲ持テ居ル、斯ク明言サレマシタ爲ニ、四十二議會ニ於テ私共モ此點ノ必ズ成文トナルベキコトヲ期待シタノデアリマス、然ルニ四十四議會モ唯吾々ガ此壇上ニ於テ此要求ヲ爲スニ止テ、今日マデ此提案ハ吾々ニ示スコトガ出来ナカクノデアリマス、私共ハ恩給其モノ、上ニ付キマシテハ、一定ノ主義ヲ持テ居ルノデアリマス、必シモ受恩給者ノ爲ニ之ヲ言フノデアリマス、軍人ガ死生ノ間ニ往來シテ、身ヲ君國ニ捧ゲテ國家ノ大事ヲ負擔スル上ニ於テハ、國民ハ之ニ對シテ相當ノ考慮ガ豫メ無ケレバナラヌ、退職後ノ生活ノ補助及其保障ハ、是ハ退職軍人ノ要求ニ依テ吾々ハ考慮スルニ非ラズシテ、苟モ國防ヲ重シタル上ニ於テハ、此觀念ヲ帝國議會ハ持テネバナラヌノデアリマス、癡ハ之ノ狀態ヲ見若クハ扶助料ヲ受ケル人ノ單ニ身ノ上ニ於テ、私共ハ之ヲ思フノデアリマセヌ、軍人ハ斯ノ如キ境遇ニ身ヲ置カシムルトキニ然ルベキヲ思ヒ、願クハ國家ニ忠實ナレト云フ考ノ上カラ恩給制

度ヲ考慮シテ、此制定ヲ完全ナラシムルニ在ルノデアリマス、
文官デアデモ同様デアリマス、退職後ノ生活ノ補助若クハ
保障是アリテコソ、文官ガ忠實ニ國家ニ其ノ一身ヲ捧ゲテ、公
正嚴格ニ職務ニ奉ズルコトガ出來ルノデアリマス、吾々恩給
ノ上ニ考フベキ事ハ即チ斯ノ如キ根據ノ上ニ立テ居ルノデ
アリマス、更ニ軍人ノ狀態ニ付テ申シマスレバ、青年士官ノ
待遇ト云フモノハ極テ惡イ時代ノ要求デ、漸次改善セラ
ルデアリマセウケレドモ、今日ハ極テ惡イ、更ニ下士ニ至
テハ洵ニ同情スベキ點ガアル、敬意ヲ拂フベキ點ガアルノデ
アル、而モ斯ノ如キ境遇ニ身ヲ捧ゲテ國防ニ從事シテ、其老後
ノ生活ハドウデアルト云フト、今日ハ實際之ヲ補助シ、之ヲ
保障スル所ノ程度ノ恩給ヲ與ヘテ居ナイ、文官ニ於テモ同
様デアリマス、元來恩給制度ノ改善ヲ叫ビ、此要求ヲ爲ス、
何ノ爲ニ斯ル必要ヲ感ジタカト云フト、物價騰貴ナルモノガ
此叫ノ聲ヲ大ナラシメタ、此點ニ於テハ現内閣ハ殊ニ恩給
制度ノ改正ヲ爲スベキ義務アリモノト私ハ考ヘテ居ルノデ
アリマス、而モ今日マデ之ヲ爲サズルガ爲ニ、吾々ハ之ヲ統
一シ、公平ナル所ノ配分ヲ與ヘンガ爲ニ、此調査會ヲ要求
スルノデアリマス、津野田君ノ申サレタ通り、養兵ノ現在及
ビ扶助料ヲ受ケル人ノ身ノ上ニ付テハ、每議會ニ是ハ諮ハ
レテ居リマス、殊ニ養兵ノ名前ニ付テハ津野田君ガ申サレ
タ、多年私共ガ主張シテ居ル、在野黨ノ聲ハ小コトイ、偶
津野田君ノ叫ビ依テ養兵ノ名前ハ之ヲ改ムコトヲ得ル
コトヲ喜ブノデアリマス、文官ニ於テハ巡査看守ノ如
キ地方税ニ依テ俸給ヲ得ル者ハ恩給ニ加算サレナイ、是ハ
地方税ノ一ノ定トシテ、之ガ一般官吏トナル時ニ於テ通算
サレナイ、此事ニ付テ昨年既ニ之ヲ主張シタノデアリマスガ、
幸ニ先頃下ナタカノ御提案ノアツタヤウニ記憶シテ居ルノデ
アリマス、又地方職員ノ中ニ於テマシテ恩給ヲ受ケナイ者ガ
アル、四十三議會ニ於テマシテ鳩山一郎君ノ御提出ニナ
タカ各省ノ職員、其他之ニ類似スル鐵道ノ機關庫從業員、
斯ノ如キ總テノ上ニ於テマシテモ、複雑多岐ニシテ之ヲ改
正セントシテモ一法ノ上ニ纏メルコトハ、吾々議員ノ手デハ
頻ル困難デアリマス、要スルニ政府ニ於テ調査會ヲ設ケテ、
是等ヲ總テ統一スルコトガ此法案ノ完全ヲ來ス所以デア
ルト思フノデアリマス、尙ホ委員會ニ於テマシテ申
上ゲル積リデアリマスガ、既ニ多クノ時間、建議案ニ付テ諸
君ノ御耳ヲ費ヤサレタ場合デアリマスカラ、甚ダ簡單デア
リマスガ、私ノ提出理由ハ茲ニ結ビマスルガ、尙ホ一言申シ
マスレバ、華府會議ノ結果、海軍ノ軍縮陸軍ノ改革等ハ目
下ノ急務中ノ急務デアリマス、之ヲ爲スニ付テハ是等ノ人
人ノ退職後ノ處分ニ付、此恩給法ノ改正ニ依テ上ゲタ趨
ネバ、適當ナ改革ガ爲シ得ナイト思ヒマス、以上申上ゲタ趨
意ニ於テ本建議案ヲ提出シタノデアリマス、願クハ諸君
ノ考慮ヲ以テ、完全ナル法文ノ制定ヲ得ルヤウニ、政府ニ調
査會ノ實施ヲ要求スルコトニ御賛成ヲ希ヒタク思フノデア
リマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ永屋茂君外二名提出巡查看守
退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外四件ノ委員ニ併
セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
(賛成「下呼フ者アリ」)

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイ
ト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十九、北
海道本州連絡完成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、阿
部武智雄君

第二十九 北海道本州連絡完成ニ關スル
建議案(阿部武智雄君外四名
提出)

北海道本州連絡完成ニ關スル建議案

北海道本州連絡完成ニ關スル建議案

北海道本州連絡交通機關ハ青森函館間ノ一路ニ過キ
サルヲ以テ極メテ不備ニシテ北方開發ノ進展ヲ妨
クルヤ甚シ故ニ政府ハ速ニ之カ準備方法トシテ左記鐵
道ノ完成ヲ期シ且青森港ノ海陸設備ヲ完ウセラレムコ
トヲ望ム
一青森縣青森ヨリ三厩小泊ヲ經テ五所川原ニ至ル
鐵道
一北海道福山ヨリ上磯ニ至ル鐵道
一青森縣田名部ヨリ大間ニ至ル鐵道
一北海道戸井ヨリ函館ニ至ル鐵道
右建議ス

○阿部武智雄君 本建議案ハ、昨年モ本議場ヲ通過シマ
シテ居ル問題デアリマスガ、昨年ト少シ其趣ヲ異シタ點ガ
アル、昨、昨年モ此北海道本州トノ連絡ヲ圓滿ニナラシ
ムル目的ニ於テマシテ、一ツハ先刻本員ノ建議案ヲ說明シ
マシタ青森函館ノ連絡ハ、是ガ第一番ノ連絡ニナラシメ
マスルガ、其外此北海道本州連絡ノ補助航路トモ申スベ
キ方ハ陸奥灣ノ西北ニ沿ウテ、青森ヨリ三厩ニ至リ、北海
道ノ函館、吉岡ニ渡リテ往キマス、又三厩ヨリ更ニ西ニ沿
テ小泊ト云フ處ニ往キマス、小泊ヨリ又吉岡小樽或ハ江差
等ニ渡リテ往クデアリマス、北海道ノ方ハ吉岡小樽上磯鐵
道ヲ拵ヘテ函館ニ連絡スルコト云フ線路ニナルノデアリマス、
今一ツハ陸奥灣ノ東ヲ通りマシテ大間カラ北海道ノ戸井
ニ渡リ、戸井カラ函館ニ渡リテ往ク、斯ウ云フ建議ノ趣旨デ
アリマスガ、三線ヲ一時ニ造ルト云フコトハ鐵道ヲ造ルトシ
マシテモ、港灣ヲ造ルトシマシテモ、經濟上許セナイコトダ
ウト思ヒマスカラ、本年ノ建議案ノ理由トシテ述ベテ置イ
タ通り、青森ヨリ三厩ニ渡リ、小泊ヲ通テ五所川原ニ至ル鐵
道一敷設法ニアル此鐵道ヲ拵ヘマシテ、北海道ノ吉岡ニ
渡リ、吉岡ヨリ函館ニ通ズル此鐵道ト港灣ヲ造ルノデアリ
マシテ、此北海道本州トノ連絡ノ便利ヲ圖ッテ戴キタイ

云フノガ此建議案ノ趣旨デアリマス、ドウゾ宜シク御賛成ヲ
願ヒマス
○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾
間電力鐵道延長ニ關スル建議案外十一件ノ委員ニ併セ
テ付託セラレンコトヲ望ミマス
(異議ナシ「下呼フ者アリ」)

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイ
ト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシマス、日程第三十、大湊
開港ニ關スル建議案——阿部武智雄君

第三十 大湊開港ニ關スル建議案(阿部
武智雄君外六名提出)

大湊開港ニ關スル建議案

我カ國本州北部ニ適當ナル貿易港ナキハ國家經濟發
達上等閑ニ付スヘカラス而シテ青森縣下北郡大湊港ハ
其ノ最適地ナリト認ム依テ政府ハ速ニ開港セラレムコト
ヲ望ム
右建議ス

○阿部武智雄君 此大湊開港ニ關スル建議案デアリマス
ルガ、之ガ要領ヲ摘ンデ申上ゲテ見タイト思ヒマス、此建議
案ハ明治四十四年ノ二月二十五日一度本院ニ出マシテ、
其時分ニ滿場一致ヲ以テ通過シテ居ル建議案デアリマス、
其當時ノ理由、說明等ハ今私ヨリ申上ゲマセウガ、其當時
ノ理由ト申シマシテモ、一ツハ大湊ハ陸奥灣ノ適當ノ位置
ヲ占メテ居ルカラ世界ノ航路ニ位シテ居ル、一ツハ陸奥灣ノ
大湊ノ開港ハ東北發展ノ一ツノ方法トモナリ、今一ツハ大
湊ハ天然ノ良港デ、人工ヲ加ヘズシテ立派ナ港ガ出來テ居
ルト云フ趣旨デ、其當時建議ヲ出シ通過シテ居リマスル
ガ、其場合ニサウ云フ立派ナ土地デアラカラ、早く鐵道ヲ通
ジテ相當ノ交通機關ヲ備ヘ、然ル後開港シテ實ヒタイト云
フ建議案ニナラシメ居リマス、然ルニ昨年ノ九月東北本線ノ野
邊地ヨリ大湊迄鐵道ハ開通致シマシタ、此明致四十四年
ノ建議ノ目的ニ鐵道ト云フモノハ、今ヤ開通致シテ居ルノ
デアリマス、故ニ此大湊ノ開港ト云フコトハ即チ陸奥灣ニ開
港トスベキ方法ガ完備シタト申シテモ宜シイ譯デアリマス、唯
茲ニ諸君ニ開港場トスル爲ノ問題トシマシテハ、陸上ノ設
備ガ未ダニ相當ナラ——所謂市街ト人口ト云フノガ甚ダ少イ
ノデアリマス、併ナガラ此大湊ニ對シマシテハ資本金八百萬
圓大湊興業會社ト云フモノガ既ニ設立シマシタ、今ヤ海
岸ノ埋立、電氣ノ裝置等ヲヤテ、若ク工事ノ進行ヲシテ居
リマス、又此大湊ノ工業地ヲ目的トシマシテ青森縣ノ有名
ナル十和田ノ電力ヲ起シテ、凡ソ三萬五千馬力ト云フ大ナ
ル電力ヲ起シテ、此興業會社ニ資セントスル方法モ略付イ
テ居ルノデアリマス、今一ツハ諸君ノ御承知ノ如ク下北方

(一八)

第五十八迄ハ、請願特別報告デアリマス。例ニ依テ一括シテ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メマス、請願委員長龍野周一郎君

第三十四 (特別報告第二百一十八號) 文官恩給ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第二百二十號) 秋港ニ稅關支署設置ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第二百二十一號) 所得稅法中改正ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第二百二十二號) 自家用醬油稅法改正ノ請願 (委員長報告)

第三十八 (特別報告第二百二十三號) 落花生輸入關稅引上ノ請願 (委員長報告)

第三十九 (特別報告第二百二十四號) 田畑地價等級修正ノ請願 (委員長報告)

第四十 (特別報告第二百二十五號) 三國港開港ノ請願 (委員長報告)

第四十一 (特別報告第二百二十六號) 網走港ヲ特別輸出港ト爲スノ請願 (委員長報告)

第四十二 (特別報告第二百二十七號) 賣藥印紙稅全廢ノ請願 (委員長報告)

第四十三 (特別報告第二百二十八號) 家祿削減額未濟分返還ノ請願 (委員長報告)

第四十四 (特別報告第二百二十九號) 不足祿追給ノ請願 (委員長報告)

第四十五 (特別報告第二百三十號) 在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願 (委員長報告)

一箇年ヲ經過シマシテ、何等政府ハ考慮スル所ガナイ、甚ダ私共ハ遺憾ニ思ヒマス、一體我國ノ航空事業ハ、列強ニ比較シテ非常ナル缺陷ガアルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ最近ニ於キマシテ、内外兩方面カラ陸海兩軍ノ整理並ニ縮小ヲシヤウト云フ、此企劃ガ起リマシタ今日ニ於キマシテハ、愈、此航空事業ノ擴張並ニ統一ヲ圖ル必要ガ迫ラセテ參ゾデアリマス(拍手) 詳シイ事ハ私が此處デ述ベルコトヲ止メマシテ、兎モ角今昨午ト全ク同一ノ理由ノ下ニ在リマスカラシテ、ドウモ今年ハ政府ニ於テ特ニ考慮セラレマシテ、一日モ早く此實現ヲ見マス事ヲ希望致シマス、諸君ニ於テ御賛同ヲ得マシタラ、之ニ越ス幸福ハアリマセヌ(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ大國育造君外十名提出、陸軍ノ整理縮小ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成「下呼フ者アリ」

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第三十二ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシ「下呼フ者アリ」

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ延期ヲ許シマス——日程第三十三、烏黑伊柳鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、石川玄三君

第三十三 烏黑伊柳鐵道敷設ニ關スル建議案(石川玄三君外二名提出)

烏黑、伊柳鐵道敷設ニ關スル建議案
烏黑、伊柳鐵道敷設ニ關スル建議案
眞圖輕便線茂木驛ヨリ栃木縣那須郡烏山、川西、伊王野、野野ヲ經テ東北本線黑田原驛ニ至ル線路並伊王野ヨリ分岐シ筑澤ヲ經テ福島縣白棚線棚倉驛ニ達スル線路ハ常陸下野磐城三國ノ産業開發並軍事用兵上鐵道敷設ヲ要スルコト極メテ切ナルモノアリ依テ政府ハ速ニ其ノ計畫ヲ立テ之ヲ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

石川玄三君 簡單デスカラ是カラ申上ゲマス、是ハ昨年植竹君、松岡君カラ詳シク説明セラレマシタカラ、説明ハ略シマス、委員會モ本會モ滿場一致デ通過致シマシタ、本年モ、同様御賛成ヲ願ヒマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ植竹平君外一名提出片町長尾間電力鐵道速成ニ關スル建議案外十一件ノ委員ニ併セテ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成「下呼フ者アリ」

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三十四ヨリ

第三十一 航空事業ノ統一及擴張ニ關スル建議案(津野田是重君外三名提出)

航空事業ノ統一及擴張ニ關スル建議案
航空事業ノ統一及擴張ニ關スル建議案
航空事業ノ統一シ且其ノ擴張ヲ計リ速ニ之ヲ完成ヲ期スルハ帝國焦眉ノ急務ナリ政府ハ昨年本院ニ於テ議決シタル趣旨ニ基キ陸海軍ニ屬スル各專門ノ事項ヲ除キ之ヲ統一及擴張ヲ圖リ以テ民間事業ノ發達ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔津野田是重君登壇〕

○津野田是重君 此航空事業ノ統一並ニ擴張ノ事ハ、昨年モ既に提出ヲ致シマシテ、委員會ハ勿論、本會ニ於テモ滿場一致ヲ以テ御賛同ヲ得タ建議案デアリマス、然ルニニマル

面、即チ此大港ノ背後ニナテ居リマスル下北ハ、礦物ノ澤山アル處デ、現ニ大正鑛山其他ガアリマスルガ、モウツハ無盡藏ノ砂鐵ガアルノデアリマス、此砂鐵ノ數ガ先ヅ凡ソノ數デアリマススケレドモ約十億噸程アルト云フ、是ハホンノ數字デ現シタモノ、ヤウニ思フノデ、殆ド無盡藏ト稱スベキ砂鐵ガアルノデアリマス、此砂鐵ハ今ヤ立派ニ製鐵スベキ方法ガ立ッテ、唯經濟上適當ニ採ヘテ見ルト云フダケノ試驗中ニアルノデ、一朝事有ル節ハ立派ニ鐵ニナルト云フコトハモウ成功シテ居ル次第デアリマス、斯ノ如ク大ナル礦物ノアル場所デモアルカラ、茲ニ此港ヲ開港場ニシテ相當ナル航海ノ準備ニ備ヘタイノデアル、次ニ此港ニ對スル狀況ハ、私ガ今委シク此狀況ヲ申上グルコトヨリモ、茲ニ大正六年十一月十三日ノ報知新聞ニ掲ゲラレマシタ津輕海峽「ドーバーカレ」ト云フ所内海軍中將ノ書イタ物ガアリマス、此津輕海峽ノ中大湊ニ關係シタ部分ヲ茲ニ載セマシテ、大湊ノ灣ガ如何ニ立派ナモノデアルカト云フコトヲ載セテ戴クヤウニ議長ニ御願ヒ致シマス、若シ議長ニ於テ御許ガナイトスレバ、是ヨリ讀ミマスガ——今度ハ御許ニナルサウデスカラ、是ハ要領ヲ私ハ省イテ置キマシタカラ、此大湊ノ關係ノ處ゲハ此所ニ載セテ戴クヤウニシマシテ、之ヲ以テ大湊ノ立派ナト云フコトヲ御覽ヲ願ヒタイ(拍手) 後ノ細カイ事ハ委員會デ詳細ニ申上ゲマス

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君提出、三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成「下呼フ者アリ」

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第三十一、航空事業ノ統一、及擴張ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、津野田是重君

第四十六

(特別報告第百四十一號) 日露戰役ノ際浦潮艦隊ノ爲撃沈又ハ破損セラレタル汽船所有者ニ對シ損害填補ノ請願

(委員長報告)

第四十七

(特別報告第百四十二號) 明治節制定ノ請願

第四十八

(特別報告第百四十三號) 宮ノ内鎮座八幡神社昇格ノ請願

(委員長報告)

第四十九

(特別報告第百四十六號) 國幣大社大山祇神社國寶館建築費國庫補助ノ請願

第五十

(特別報告第百四十七號) 府縣制第百八條改正ノ請願

(委員長報告)

第五十一

(特別報告第百四十八號) 失業者保護ノ請願

第五十二

(特別報告第百五十號) 按摩術營業取締規則ニ關スル請願

(委員長報告)

第五十三

(特別報告第百五十一號) 偽造兵取締ノ請願

第五十四

(特別報告第百五十四號) 大船渡港ヲ重要港灣ト爲スノ請願

(委員長報告)

第五十五

(特別報告第百五十六號) 鶴見川改修費國庫補助ノ請願

(委員長報告)

第五十六

(特別報告第百五十七號) 淺茂川漁港修築ノ請願

(委員長報告)

第五十七

(特別報告第百五十八號) 高砂港灣改修費國庫補助ノ請願

(委員長報告)

第五十八

(特別報告第百六十號) 天賣漁港修築ノ請願

(委員長報告)

特別報告第百二十八號

意見書

請願文書表第七四七號

文官恩給ニ關スル請願 山口縣豐浦郡長府町大字豐浦村千九百二十六番地土族無職富成久熊外六十名呈出(紹介議員坂上貞信君)

右請願ノ要旨ハ現行文官恩給法ハ(一)文官ノ恩給ハ退官當時ノ四分ノ一ナルヲ更ニ増加シ特ニ降級漸高主義ニ據ルコト(二)在官年數ニ依ル恩給增加率ヲ増加スルコト(三)恩給及遺族扶助料ノ最低額ヲ少クトモ一人ノ糊口ヲ凌キ得ル程度ト爲スコト(四)遺族扶助料額ヲ増加スルコトノ主旨ニ據リ速ニ改正セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百三十號

意見書

請願文書表第八六四號

扶港ニ稅關支署設置ノ請願 山口縣阿武郡扶町 助役石津吉之助呈出(紹介議員國重政亮君)

右請願ノ要旨ハ山口縣阿武郡扶港ハ貨物ノ輻輳船舶ノ出入饒多ニシテ日本海方面ニ於テ樞要ノ地位ヲ占ムルコトハ世ノ認メラルルコトナリ而シテ最近ノ情勢ヲ按ズルニ扶港ニ出入集散スル船舶貨物ハ年ト共ニ其ノ數ヲ激増シ加フルニ近時滿洲及南支那地方トノ連絡頻繁ヲ加ヘ是等船舶ハ出港後一度門司又ハ對馬ヘ寄港シ檢査ヲ受クル狀態ニシテ航海上多大ノ不便不利ヲ感スルノミナラス是等ニ對シ取締ヲ要スヘキモノ益多キヲ示セルニ拘ラス稅關機關トシテ濱田ノ下關間ニ唯此ニ扶港ニ監視署アルノミニシテ地方並海運ノ發達ヲ阻害スルコト大ナリ依テ速ニ前記扶港ニ稅關支署ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百三十一號

意見書

請願文書表第七八〇號

所得稅法中改正ニ關スル請願 岡山縣小田郡大井村長藤原脩三外二十二名呈出(紹介議員守屋松之助君)

右請願ノ要旨ハ所得稅法第十六條ニ於テ少額ナル所得者ニ對シ特別控除ヲ爲ス旨ヲ定メタリ然ルニ此ノ特典ハ所得ノ申告ト同時ニ控除ノ申請ヲ爲シタルモノニ限定セラレタリ惟フニ所得ノ申告ト同時ニ其ノ申請ヲ爲スト否トニ依リテ特典授與上ニ區別

ヲ爲スカ如キハ所得稅法ノ精神ニ非サルヤ必セリ故ニ特典授與ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲同法第十六條第一項中其ノ所得ヲ有スル者ノ申請ニ依リテ十五字ヲ創設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百三十二號

意見書

請願文書表第七八一號

自家用醬油稅法改正ノ請願 岡山縣小田郡北川村長三浦益一郎外十四名呈出(紹介議員守屋松之助君)

右請願ノ要旨ハ自家用醬油稅法ニ據ル第一種一石未滿ノ製造者ノ如キハ生計困難ナル多數ノ細民カ日常必須ノ需要ヲ充サントスルニ在リテ之ニ課稅スルコトノ不當ナルヤ明ナリ依テ自家用醬油稅法第三條第二項中第一號ヲ創設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百三十三號

意見書

請願文書表第九七五號

落花生輸入關稅引上ノ請願 神奈川縣中郡大磯町神奈川落花生同業組合長吉野勝外二名呈出(紹介議員吉植庄一郎君外二名)

右請願ノ要旨ハ近來本邦ニ輸入セラルル落花生ハ急激ニ其ノ數ヲ増加シツアルニ拘ラス一方本邦產落花生ノ輸出激減ノ結果當業者ノ困憊其ノ極ニ達セリ依テ輸入落花生ノ關稅ヲ引上ケ以テ之カ救済ノ途ヲ講セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百三十四號

意見書

請願文書表一〇七二號

田畑地價等級修正ノ請願 山形縣東田川郡泉村大字野田字板橋十五番地土族農相倉廣之外百三十九名呈出(紹介議員熊谷直太君)

右請願ノ要旨ハ山形縣東田川郡泉村大字荒川ノ仙道野田(黒川村大字田代 黒川ノ一部ハ地味最下等ノ腐蝕地ニシテ收穫 甚タ少キニ拘ラス地租改正ノ當時評價ヲ誤リタル爲地價格外ニ高ク從テ公課ノ負擔過重ニシテ經濟上ノ困難一方ナラス依テ曩ニ屢屢貴衆兩院ニ請願シテ採擇ヲ得タルモノナルヲ以テ前記土地ノ地價ヲ修正セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百三十五號

意見書

請願文書表第一〇六四號

三國港開港ノ請願 福井縣坂井郡三國町長岡崎悌二郎呈出
(紹介議員野村勘左衛門君)

右請願ノ要旨ハ福井縣三國港ハ日本海沿岸ニ於ケル要港ニシテ將來滿洲港及朝鮮各港灣ト密接ナル對外貿易關係ヲ生スルノミナラス陸上ニ於テ三國支線鐵道ト相俟テ貨物ノ輸出入ハ日ヲ追テ盛ナラムトス依テ速ニ三國港ヲ開港セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百三十六號

意見書

請願文書表第一〇七九號

網走港ヲ特別輸出港ト爲スノ請願 北海道網走郡網走町大字北見町中通六丁目二十四番地中川國藏外二百五十一名呈出(紹介議員木下成太郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ北見國網走港ハ今や修築工事モ大半竣成セムトスルニ當リ世界ノ趨勢ニ順應シ且北方開發ノ急要ナルニ鑑ミ速ニ特別輸出港トセラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百三十七號

意見書

請願文書表第一〇九三號

賣藥印紙稅全廢ノ請願 富山縣賣藥業同業組合副組長飯倉平兵衛呈出(紹介議員高見之通君)

右請願ノ要旨ハ賣藥ハ醫藥ト等シク疾病ノ治療ヲ目的トスルニ拘ラス賣藥ニ對シテノミ過重ノ印紙稅ヲ課スルハ害ニ斯業ノ改善發達ヲ阻害スルノミナラス又課稅ノ本旨ニ反スルモノト謂ハサルヘカラス依テ賣藥稅法第二條ヲ削除シテ印紙稅ヲ全廢セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百三十八號

意見書

請願文書表第七一號

家祿削減額未済分返還ノ請願 高知市掛川町三十五番屋敷士族新聞記者五藤正隣外八百四十九名呈出(紹介議員水野吉太郎君)

右請願ノ要旨ハ舊高知藩士族ハ明治四年二月藩債償却ノ爲永世家祿及實典祿ヲ三箇年間一時處分ヲ以テ三分ノ一削減セラレタリ然ルニ明治五年九月大藏大輔ノ達令ニ依リ藩債祿高ヲ合算シテ二箇年間ノ藩債充當分ハ返却セラレタリト雖餘額一箇年分ハ調査誤脱ノ結果給與セラレシテ今日ニ及ヘリ依テ一箇年分ニ付明治九年太政官第八號布告ニ依リ金祿公債證書ヲ下附セラレタル時ニ換算シタル三箇年平均石代相場(一石五圓四十錢餘)ヲ其ノ年限率ニ計算シタル合計金十四萬圓ニ對シ公債證書ヲ以テ下附セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第三百三十九號

意見書

請願文書表第七六二號

不足額追給ノ請願 奈良市中筋町七番屋敷接骨業川井九一郎外十七名呈出(紹介議員磯田三郎君)

右請願ノ要旨ハ明治十年五月舊境縣ニ於テ族祿確定ノ辭令ヲ受領シタル一乘院、大乗院ノ家士ニ對シ明治辛未六月十七日太政官布告ニ基キ明治四年乃至六年ノ三箇年分ノ支給不足額米ヲ速ニ支給セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第四百十號

意見書

請願文書表第八三七號

在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願 東京市赤坂區靈南坂町十四番地牧師小崎弘道呈出(紹介議員島田三郎君)

右請願ノ要旨ハ日本ノ汚辱タル密航賣淫婦ハ海外諸國ニ於テ言フニ忍ビサル狀態ニ在ルノミナラス彼等モ亦懲然ナリ且國家ヲシテモ面目ヲ失スルモノトス是實ニ現行取締ノ法宜シキヲ得サルニ基因スルモノニシテ之ヲ改正セシムハ將來ノ禍難推知スルニ難カラス依テ速ニ適當ノ法律ヲ制定シ周到ノ取締アリタシト謂フニ在リ

特別報告第四百十一號

意見書

請願文書表第一〇九〇號

日露戰役ノ際滿洲艦隊ノ爲浮沈又ハ破損セラレタル汽船所有者ニ對シ損害填補ノ請願 朝鮮仁川府寺町四十三番地運送業堀力太郎呈出(紹介議員水野吉太郎君)

右請願ノ要旨ハ請願人ハ日露戰役ノ際朝鮮元山領事大木安之助ノ依頼ニ應ジ所有船隻ノ浦九ヲ以テ城津居留民ノ引上ヲ完了シ秋ノ浦九、五洋九ノ兩船ヲ朝鮮東海岸ニ就航セシメ釜山北韓ノ連絡ヲ保チ居留民ノ急需ニ應ジ殖産興業ノ維持ニ貢獻シ來リタ

ルニ明治三十七年四月二十五日滿洲艦隊ノ襲撃ニ會ヒ五洋九ハ元山港内林之浦九ハ咸鏡道前津浦ニ於テ孰レモ擊沈セラレ慶尙號ハ臨津津ヨリ軍用品ヲ搭載シテ清津ニ向ヒ航行中敵艦逐艇ノ爲ニ船體大損害ヲ蒙リタリ斯ノ如ニシテ財產ノ大部分ヲ滅盡セラレ遂ニ祖先傳來ノ海運業ヲ廢絶セサルヲ得サルニ至リシヲ以テ相當ノ救恤アリタシト謂フニ在リ

特別報告第四百十二號

意見書

請願文書表第六三二號

明治節制定ノ請願 長岡市觀光院町九百七十五番地平民無職野本恭八郎呈出(紹介議員木村清三郎君)

右請願ノ要旨ハ明治天皇仁聖ノ神風ハ浴ク中外ヲ扇キ國運益進展シテ止マサルコト億兆ノ均シク讃仰シ奉ルトコロナリ依テ其ノ御盛業ヲ永ク仰慕シ奉ラムカ爲ニ明治天皇ノ御降誕アラセラレタル十一月三日ヲ以テ明治節ト名ツケ邦家ノ一大祝日トセラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十三號

意見書

請願文書表第八八八號

宮ノ内鎮座八幡神社昇格ノ請願 巖手縣膽澤郡佐倉河村大字宇佐宿三十五番地高橋與平呈出(紹介議員志賀和多利君)

右請願ノ要旨ハ巖手縣膽澤郡佐倉河村大字宇佐宿ノ内八幡神社ハ衆田別命、稚日靈命、素戔鳴命ヲ御祭神トシ一千有年餘間東奧唯一ノ鎮護無二ノ靈社トシテ神威四方ニ輝キ歷代ノ將軍及關白ノ崇敬篤ク藩公庶民ノ信仰絶ユルコトナク從テ祭幣禮典極メテ嚴然整備セラレ今尙四時參拜スル者踵ヲ續クニ拘ラス單ニ之ヲ邊隅ノ村社トシテ奉祀スルハ害ニ斯業ヲ阻害スル者幾百萬ノ遺憾タルノミナラス實ニ神明ヲ冒瀆スルノ恐レアリ依テ速ニ八幡神社ヲ昇格セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十六號

意見書

請願文書表第一〇三〇號

國幣大社大山祇神社國寶館建築費國庫補助ノ請願 松山市三番町四十七番戶士族國幣大社大山祇神社國寶保存會長川上親俊外二名呈出(紹介議員深見實之助君外一名)

右請願ノ要旨ハ愛媛縣越智郡大三島鎮座國幣大社大山祇神社ニ於テハ所藏國寶甚多ク兵器類ハ本邦ニ於ケル現在神社ニ屬スル國寶總數二百餘點ノ内八十餘點ノ多キニ達シ就中甲冑ハ其ノ總數百十餘點中實ニ六割ヲ占ム然ルニ現在ノ寶庫ハ在來ノ普通倉庫ナルヲ以テ保管極メテ不完全ナリ依テ寶物損壞ノ爲國家ニ於テ相當補助金ヲ支出セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百七號

意見書

請願文書表第一〇二六號

府縣制第八條改正ノ請願 德島市柳町五番地官吏岸田儀

一呈出(紹介議員八田宗吉君)

右請願ノ要旨ハ府縣制第八條該當者ニ對スル附加稅課稅方法ニ據ルトキハ關係府縣知事ノ協議經テセラル等ノ爲動モスレハ課稅ノ目的ヲ達シ得サルコトナシトセシ依テ之ヲ改メ稅務署ニ於テ決定セラレタル營業稅所得稅釐金稅等ヲ基本トシテ賦課セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百八號

意見書

請願文書表第八三一號

失業保護ノ請願 東京市牛込區砂土原町三丁目四番地土

族雄誌記者山口正意呈出(紹介議員土井權大君)

右請願ノ要旨ハ帝國臣民中産業ニ從事スル多數勞働者ハ財界ノ不況又ハ軍備縮小其ノ他種種ナル原因ノ爲失業シタル者其ノ數幾十萬人ニ達シ刻下飢饉窮乏ノ狀態ナリ依テ失業保護ニ關スル法律案ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十號

意見書

請願文書表第七五七號

按察書營業取締規則ニ關スル請願 東京市神田區南甲賀町八番地千葉勝太郎外四百三十七名呈出(紹介議員龍野周一郎君)

右請願ノ要旨ハ按察書營業取締規則ハ大正九年四月內務省令ヲ以テ改正ノ結果爾來地方長官ノ施行スル「マツサージ」術試驗ニ合格スルカ或ハ指定セル學校ニテ「マツサージ」術ヲ修得卒業者ニ限リ「マツサージ」術ヲ標榜シ營業スルコトヲ得ルコトナレハ以テ同規則改正當時「マツサージ」術營業者ニシテ廢業ノ止

ムナキニ至ル者アリ是レ請願人等ノ苦痛ニ堪ヘサルコトヲ思ヒ依テ規則改正當時ノ按摩鑑札所有者ニ「マツサージ」術營業ヲ許可セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十一號

意見書

請願文書表第八四七號

偽造兵取締ノ請願 大阪市東區寺山町四百九十三番地大阪保衆院長大阪府兵協會會長後藤鐵太郎外百十七名呈出(紹介議員山口義一君)

右請願ノ要旨ハ近時偽造兵ノ横行甚シク爲ニ廢兵ノ名譽ヲ毀損スルモノアルヲ以テ(一)偽造兵人ニ非サル者ニシテ廢兵タルコトヲ詐稱シ又ハ之ニ紛ハシキ言動動作ヲ以テ人ヲ欺罔シ賣藥其ノ他ノ行商ヲ爲スコト(二)偽造兵人ニ非サル者ニシテ偽造兵人徵章其ノ他軍事ニ關聯シテ授與セラレタル勳章並徵章及之ニ類似ノ物ヲ僱用シテ行商スルコト(三)偽造兵人ニ非スシテ收利ノ目的ヲ以テ營業スル者ニシテ其ノ商號中廢兵又ハ傷病兵及之ニ類似シ若ハ之ヲ暗市スル文字ヲ使用スルコトヲ禁止スヘキ取締法規ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十四號

意見書

請願文書表第七五〇號

大船渡港ヲ重要港灣ト爲スノ請願 巖手縣氣仙郡唐丹村百三十八番戶平民醫師柴塚治外四十六名呈出(紹介議員志賀和多利君)

右請願ノ要旨ハ大船渡港ハ橫濱函館間五百五十哩ノ殆ト中央ナル巖手縣ノ南端ニ位シ盛岡市ヲ距ル僅ニ二十七里仙臺市ヲ距ル三十二里ノ地點ニ在リテ灣口東ニ向ヒ南北ノ方向ニ横ニ深ク陸地ニ彎入セル長形ノ灣ニシテ其ノ長サ約五十町灣内最モ廣キ所ハ千百間狹キ所ト雖四百間ヲ有シ海底深ク大船巨船モ直ニ岸頭ニ淀泊スルコトヲ得ヘク加フルニ周圍ノ丘陵ハ自然防波堤ヲ爲シ暴風怒濤モ何等ノ影響ナク實ニ天賦ノ良港ナリ今ヤ一ノ關、大船渡間ノ鐵道敷設モ決定シ近クハ三陸沿岸鐵道並川井、高田間鐵道ノ敷設モ實現セラレヘキヲ以テ陸上ノ連絡完成セハ一層重要港タルノ價值ヲ完備セスヘシ依テ速ニ大船渡港ヲ重要港ニ指定ラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十六號

意見書

請願文書表第七二號

鶴見川改修費國庫補助ノ請願 神奈川縣橋本郡田村市場千六百三十八番地梶本直義呈出(紹介議員小野重行君外二名)

右請願ノ要旨ハ鶴見川ハ東京、神奈川兩府縣ヲ貫流シ水流遲緩排水不良ニシテ洪水ノ際ハ氾濫數日ニ渉ルコト在リテ農作物ノ被害多ク下流一帶ノ地ハ橫濱港ニ近ク工業地帶トシテ極メテ有望ナリト雖洪水アル爲草叢ノ荒野ト化シ多ク手ヲ煩ル者ナシ之ヲ以テ神奈川縣ハ變ニ小規模ノ改修ヲ企テタリト雖其ノ效少ク目下中止ノ狀況ニ在リ之ヲ爲流域附近關係町村ノ住民ハ空シク悲歎ニ暮ルルノ實狀ニ在リ依テ沿岸地方ヲ工業地トシテ發展セシメ且農作被害ヲ免レシムル爲同縣カ企圖スル大改修工事ニ對シ總工費ノ二分ノ一ヲ國庫ヨリ補助セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十七號

意見書

請願文書表第八四九號

淺茂川漁港修築ノ請願 京都府竹野郡網野町字網野百三十四番戶酒造業河田源七外四十三名呈出(紹介議員長田桃藏君)

右請願ノ要旨ハ近來丹後ノ近海及沖合ハ漁業頗ル旺ニシテ漁獲物ノ年額百萬圓ニ對ス然ルニ與謝郡經ヶ岬以西兵庫縣津居山港ニ至ル間ニ於テ一ノ避難港灣ナク而モ經ヶ岬附近ハ古來日本海中最難所ニシテ一朝天候ノ不良ニ際セムカ汽船ヲ初メ數百ノ大小漁船ト二千有餘ノ人命トノ危險實ニ寒心ニ堪ヘス茲ニ於テ京都府會ハ大正九年農商務省ヲ煩シ適當ナル候補港ノ調査ヲ依囑シタル結果淺茂川港ヲ以テ適當ト認メラレタリ而シテ該港ハ經ヶ岬津居山港間ノ中央ニ位シ沖合漁業トノ關係密接ニ便タルノミナラス港内ノ水面廣ク機船ノ收容ニ好適ナルヲ以テ更ニ之ニ修築ヲ施サムカ極メテ良港ト爲ルハ明白ナリ依テ速ニ前記淺茂川港ヲ漁港トシテ修築セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百十八號

意見書

請願文書表第九四二號

高砂港灣改修費國庫補助ノ請願 兵庫縣加古郡高砂町長土居兵太郎外二十九名呈出(紹介議員多木久次郎君外三名)

右請願ノ要旨ハ兵庫縣加古郡高砂港ハ中國ニ於ケル大港灣タリ
今ヤ播州鐵道ハ高砂港ヨリ起リテ谷川線ニ聯絡セムトシ南北貫
通ノ日モ亦遠キニ非ス加古川ノ改修ハ著著進捗シテ近ク完
成ヲ告ケ汎濫ヲ防キ運輸ノ便ニ資セムトス依テ高砂港灣ノ改修
ニ相當國庫補助ヲ與ヘラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ超旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決
セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百六十號

意見書

請願文書表第一〇一四號

天賣漁港修築ノ請願 北海道苫前郡天賣村無番地漁業木村
宇太郎外百八十五名呈出(紹介議員東武君外一名)

右請願ノ要旨ハ北海道苫前郡天賣村ハ海洋ニ孤立セル島地ニシ
テ海面一帯豐富ナル魚族ヲ抱擁シ毎歲ノ收穫五十萬餘ヲ下ラス
故ニ小樽以北有望ノ水産島ヲ以テ目セラル之ヲ以テ人口連年増
殖シ海陸ノ拓殖又駁駛トシテ發達進歩ノ狀勢ニ在リ然レトモ沖
合漁業ニ好適セル避難地ノ缺陷ニ依リ沖合漁業ノ生命タル漁
業機船ノ繫留ニ不安ヲ生シ其ノ業務ニ從事スルコト能ハスシテ
村民ノ生活上多大ノ打撃ヲ受ケツツ在リ依テ天賣港ヲ速ニ漁港
トシテ修築セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ超旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決
セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

〔龍野周一郎君登壇〕

○龍野周一郎君 只今一括シテ日程ニ上セラレマシタル
此請願案件ニ付キマシテハ紹介議員諸君ヨリ最モ熱心ナ
ル説明ヲ伺ヒ、政府委員ノ説明ヲ聴キ、又必要アル場合ニ
ハ、政府ノ意見モ聴取リマシテ、委員會ニ於テハ最モ丁寧
ニ審査ヲ致シマシテ、相當請願ノ理由アルモノト認メテ、全部
採擇ヲ致スコトニ決定シタ條件デアリマス、詳細ナル理由、
其内容ハ例ニ依ッテ御手許ニ配付致シマス速記録ニ依ッ
テ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、本會ニ於テモ満場一致採
擇ノ御決議ヲ希望致シマス(拍手)

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○鈴木錠藏君 日程第三十四乃至第五十八ノ二十五
案ヲ一括シテ、請願委員長報告ノ通り採擇アラムコトヲ望
ミマス

〔賛成〕〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト
認メマス、仍テ各請願ハ總テ委員長報告ノ通り採擇ニ決シ
マシタ、是ニテ本日ノ議事日程ハ了致シマシタ、明日ハ都
合ニ依リ議事ヲ休會致シマス積リデアリマス、次會ノ日程
ハ追テ公報ヲ以テ報告申上ゲマス、今日ハ是ニテ散會

午後四時四十六分散會

官報號外

大正十一年三月十日

衆議院議事速記録第二十六號